

患者ケア標準書の作成（神経内科）

研究分担者 井川 正道 国立大学法人福井大学 講師

研究要旨

ミトコンドリア病における「患者ケア標準書」（特に脳神経内科領域における）の作成を行い、診療の標準化を図る

A. 研究目的

ミトコンドリア病は希少疾患であり、多彩で多臓器に及ぶ症状を呈するため、診療には専門的な知識や経験が必要である。診療の標準化には「患者ケア標準書」の策定が有効である。本研究では「患者ケア標準書」の作成を目的とする。

B. 研究方法

以前に刊行した「ミトコンドリア病診療マニュアル2017」を踏まえ「患者ケア標準書」の作成を行う。特に専門領域である脳神経内科領域を中心に担当する。

（倫理面への配慮）

「患者ケア標準書」の作成を目的とするため、倫理審査は不要である。

C. 研究結果

これまでに「患者ケア標準書」の作成に向けて疾患・領域ごとの担当者を選定し、CQ（臨床的課題）の策定を行った。現在、文献検索及び精読を行っており、来年度の刊行を目指す。

D. 考察

「患者ケア標準書」の作成によって、ミトコンドリア病診療の標準化を図る。

E. 結論

引き続き「患者ケア標準書」の作成を行う。

F. 健康危険情報

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 井川正道, 他. ミトコンドリア脳筋症・乳酸アシドーシス・脳卒中様発作症候群 (MELAS). 救急医学. 2021;45:461-467.

2) 井川正道. ミトコンドリア病. In: 最新主要文献とガイドラインでみる脳神経内科学レビュー 2022-23. 総合医学社（東京）. 2022:361-366.

3) Ikawa M, et al. Molecular imaging for mitochondrial metabolism and oxidative

stress in mitochondrial diseases and neurodegenerative disorders. Biochim Biophys Acta Gen Subj. 2021;1865:129832.

2. 学会発表

1) 井川正道, 他. 当院における成人遺伝性神経筋疾患に対する遺伝カウンセリングの検討. 第62回日本神経学会学術集会. 2021年5月, 京都.

2) 井川正道, 他. 成人遺伝性神経筋疾患における遺伝カウンセリング後の遺伝学的検査の受検状況. 日本人類遺伝学会第66回大会・第28回日本遺伝子診療学会大会. 2021年10月, 横浜.

H. 知的財産権の出願・登録状況  
（予定を含む。）

1. 特許取得  
なし

2. 実用新案登録  
なし

3. その他  
なし

テーマ：NDB を利用した疫学研究で活用できるデータベース構築

- ・ **研究分担者**：藤野善久（産業医科大学 産業生態科学研究所 環境疫学研究室）  
藤本賢治（産業医科大学 産業保健データサイエンスセンター）  
松田晋哉（産業医科大学医学部 公衆衛生学教室）  
三牧正和（帝京大学医学部 小児科）  
後藤雄一（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所疾病研究第2部）
- ・ **研究協力者**：居林興輝（産業医科大学 産業生態科学研究所 環境疫学研究室）

### 研究要旨

本研究では厚生労働省が運営するレセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB, National Database）を用いた研究が進められている。研究者がNDBを使用するに当たり、データを研究のために最適化したデータベースの構築を行った

## A.研究目的

厚生労働省は、2009年から各保険者より収集したレセプト情報および特定健診・特定保健指導情報をデータベース化した、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の運用を開始しており、2011年から研究者向けに提供を行っている。NDBには我が国のほぼ全数に近いデータが含まれており、国民の医療動向を把握することができる<sup>(1)</sup>。

今回、希少疾患であるミトコンドリア病についてNDBを用いて、ミトコンドリア病患者の有病者数および有病者割合の推定をはじめとした疫学調査を行った。

## B.研究方法

### 1)対象

本研究では厚生労働省が管理するレセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB, National Database）を利用した<sup>(1)</sup>。また、利用したデータの期間は2009年4月から2019年3月までである。

### 2)研究実施施設

産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学研究室にて実施した。

### 3)方法

2009年4月から2019年3月の期間で入院レセプトの発生したミトコンドリア病患者、およびそれに紐づく外来データをミトコンドリア病に関連する傷病名コードで抽出し、厚生労働省から受領した。

受領したデータを格納するRDBMS (Relational Data Base Management System) はSQL Serverを用いた。

受領したNDB仕様書をもとに、格納されたフォルダ名に記載された年月を値とする列を追加し、以下のテーブルを作成し、データを格納した。

DPC\_レセプト管理レコード（表1）、DPC\_医療機関情報レコード（表2）、DPC\_レセプト共通レコード（表3）、DPC\_保険者レコード（表4）、DPC\_コメントレコード（表5）、DPC\_症

状詳記レコード (表 6)、DPC\_診断群分類レコード (表 7)、DPC\_傷病レコード (表 8)、DPC\_傷病名レコード (表 9)、DPC\_患者基礎レコード (表 10)、DPC\_診療関連レコード (表 11)、DPC\_外泊レコード (表 12)、DPC\_包括評価レコード (表 13)、DPC\_合計調整レコード (表 14)、DPC\_診療行為レコード (表 15)、DPC\_医薬品レコード (表 16)、DPC\_特定器材レコード (表 17)、DPC\_日計表レコード (表 18)、DPC\_コーディングデータレコード (表 19)、DPC\_包括評価対象外理由レコード (表 20)、MED\_レセプト管理レコード (表 21)、MED\_医療機関情報レコード (表 22)、MED\_レセプト共通レコード (表 23)、MED\_保険者レコード (表 24)、MED\_傷病名レコード (表 25)、MED\_診療行為レコード (表 26)、MED\_医薬品レコード (表 27)、MED\_特定器材レコード (表 28)、MED\_コメントレコード (表 29)、MED\_日計表レコード (表 30)、MED\_症状詳記レコード (表 31)、MED\_包括評価対象外理由レコード (表 32)、PHA\_レセプト管理レコード (表 33)、PHA\_薬局情報レコード (表 34)、PHA\_レセプト共通レコード (表 35)、PHA\_保険者レコード (表 36)、PHA\_処方基本レコード (表 37)、PHA\_調剤情報レコード (表 38)、PHA\_医薬品レコード (表 39)、PHA\_特定器材レコード (表 40)、PHA\_コメントレコード (表 41)、PHA\_摘要欄レコード (表 42)、PHA\_基本料・薬学管理料レコード (表 43)、PHA\_分割技術料レコード (表 44)

データ種別ごとに医科、DPC、調剤のレセプトを結合するため、レコード識別情報ごとに全ての列を補完かつ結合元データを示す元データ列を追加した以下のテーブルを作成した。なお、対応する値が存在しない列は NULL として挿入した。

レセプト管理レコード (表 45)、医療機関情

報レコード (表 46)、レセプト共通レコード (表 47)、保険者レコード (表 48)、コメントレコード (表 49)、症状詳記レコード (表 50)、診断群分類レコード (表 51)、傷病レコード (表 52)、傷病名レコード (表 53)、患者基礎レコード (表 54)、診療関連レコード (表 55)、外泊レコード (表 56)、包括評価レコード (表 57)、合計調整レコード (表 58)、診療行為レコード (表 59)、医薬品レコード (表 60)、特定器材レコード (表 61)、日計表レコード (表 62)、コーディングデータレコード (表 63)、包括評価対象外理由レコード (表 64)、薬局情報レコード (表 65)、処方基本レコード (表 66)、調剤情報レコード (表 67)、摘要欄レコード (表 68)、基本料・薬学管理料レコード (表 69)、分割技術料レコード (表 70)

診療行為レコード、医薬品レコード、特定器材レコードについては、月で集約されているデータを日別に分解するため、日付列、当該日回数列を付加した以下のテーブルを作成した。元になるデータの 1 日の情報～31 日の情報カラムのデータが存在するかそれぞれ絞り込みを行い、カラム名の日付部分と年月列を結合して日付列とし、該当カラムのデータは当該日回数列、その他の列はそのまま日ごとテーブルに挿入した。

日ごと診療行為レコード (表 71)、日ごと医薬品レコード (表 72)、日ごと特定器材レコード (表 73)、日ごと日計表レコード (表 74)

レセプト単位での解析を行うため、レセプトにレコード順序終端列を追加した。レコード順序終端列の値には、レセプト通番ごとにレコード順序に並び替え、同じレセプト通番の次の列のレコード順序列の値-1(存在しない場合は 99999)を設定した。

マスターデータは診療報酬情報提供サービ

スにより提供される基本マスター、およびオンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様で定められた各種コード仕様を用い、コメントコード、修飾語コード、診断群分類番号、傷病名コード、診療行為コード、医薬品コード、特定器材コード、調剤行為コード、特定器材単位コード、医学的処置コード、用法コード、レセプト特記事項コードコードを格納した。件数が少ないDPC転帰区分コード、一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分コード、予定・緊急入院区分コード、他医療機関受診コード、入院期間区分コード、分割調剤種類コード、剤形コード、審査支払機関コード、混合区分コード、点数表コード、男女区分コード、病棟区分コード、算定区分コード、職務上の事由コード、自他保険区分コード、請求調整区分コード、転帰区分コードについては、データを挿入せず、コードでの条件分岐により表示することとした。

分析に必要な項目を選択するため、目的別に以下のテーブルを作成した。

V\_診断群分類レコードビュー (表 75)、V\_診断群分類レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 76)、V\_コーディングデータレコードビュー (表 77)、V\_コーディングデータレコード\_レセプト共通レコードビュー (表 78)、V\_コメントレコードビュー (表 79)、V\_コメントレコード\_レセプト共通レコードビュー (表 80)、V\_調剤情報レコードビュー (表 81)、V\_調剤情報レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 82)、V\_外泊レコードビュー (表 83)、V\_外泊レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 84)、V\_包括評価対象外理由レコードビュー (表 85)、V\_包括評価対象外理由レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 86)、V\_合計調整レコードビュー (表 87)、V\_合計調整レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 88)、V\_包括評価レコードビュー (表 89)、V\_

包括評価レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 90)、V\_保険者レコードビュー (表 91)、V\_保険者レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 92)、V\_医療機関情報レコードビュー (表 93)、V\_医薬品レコードビュー (表 94)、V\_医薬品レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 95)、V\_基本料・薬学管理料レコードビュー (表 96)、V\_基本料・薬学管理料レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 97)、V\_患者基礎レコードビュー (表 98)、V\_患者基礎レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 99)、V\_レセプト管理レコードビュー (表 100)、V\_レセプト管理レコード医療機関情報レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 101)、V\_レセプト管理レコード薬局情報レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 102)、V\_日計表レコードビュー (表 103)、V\_日計表レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 104)、V\_レセプト共通レコードビュー (表 105)、V\_レセプト共通レコード\_レセプト管理レコード医療機関情報レコードビュー (表 106)、V\_レセプト共通レコード\_レセプト管理レコード薬局情報レコードビュー (表 107)、V\_傷病レコードビュー (表 108)、V\_傷病レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 109)、V\_処方基本レコードビュー (表 110)、V\_処方基本レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 111)、V\_診療行為レコードビュー (表 112)、V\_診療行為レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 113)、V\_症状詳記レコードビュー (表 114)、V\_症状詳記レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 115)、V\_診療関連レコードビュー (表 116)、V\_診療関連レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 117)、V\_分割技術料レコードビュー (表 118)、V\_分割技術料レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 119)、V\_傷病名レコードビュー (表 120)、V\_傷病名レコード\_レセプト共通レコードビ

ュー (表 121)、V\_摘要欄レコードビュー (表 122)、V\_摘要欄レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 123)、V\_特定器材レコードビュー (表 124)、V\_特定器材レコード\_レセプト共通レコードビュー (表 125)、V\_薬局情報レコードビュー (表 126)

## E.結論

本研究では NDB を研究で利用するためのデータベース構築を行い、研究者が本データを活用し分析を行った。

## F.研究発表

### 1.論文発表

- ・ 居林興輝, 藤本賢治, 松田晋哉, 伏見清秀, 三牧正和, 後藤雄一, 藤野善久: DPC データを用いたミトコンドリア病の記述的研究. 厚生学の指標, 2020 年 4 月号(第 67 巻第 4 号)
- ・ Ibayashi K, Fujino Y, Mimaki M, Fujimoto K, Matsuda S, and Goto Y. Estimation of the number of patients with mitochondrial diseases: A descriptive study using a nationwide database in Japan. Journal of Epidemiology (accepted April, 2021)

### 2.学会発表

- ・ 居林興輝, 藤野善久, 藤本賢治, 松田晋哉, 伏見清秀, 三牧正和, 後藤雄一: DPC データを用いたミトコンドリア病患者の記述疫学研究. 第 30 回日本疫学会学術総会, 京都, 2020 年 2 月

## G.知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

### 1.特許取得

なし。

### 2.実用新案登録

なし。

## 3.その他

なし。

## H.参考文献

- 1)レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン  
(<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12401000-Hokenkyoku-Soumuka/0000135460.pdf>)(2021.02.21.閲覧)

表 1. DPC\_レセプト管理レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
レセプト管理番号	varchar	16
予備 1(保険医療機関の所在地)	varchar	255
予備 2	varchar	255
予備 3	varchar	255
予備 4	varchar	255
予備 5	varchar	255
診療年月	varchar	5

表 2. DPC\_医療機関情報レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
審査支払機関	varchar	1
都道府県	varchar	2
点数表	varchar	1
予備 1(医療機関コード)	varchar	255
医療機関コード(匿名化後)	varchar	7
予備 2(診療科コード)	varchar	255
請求年月	varchar	5
マルチボリューム識別情報	varchar	2

表 3. DPC\_レセプト共通レコードデータ テーブル定義

列名	型	長
----	---	---

		さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(年齢)	varchar	255
ID1	varchar	64
ID1N	varchar	64
ID2	varchar	64
レセプト番号	varchar	6
レセプト種別	varchar	4
診療年月	varchar	5
男女区分	varchar	1
予備 2(生年月)	varchar	255
給付割合	int	
入院年月日	varchar	7
病棟区分	varchar	8
一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分	varchar	1
レセプト特記事項	varchar	10
予備 3	varchar	255
割引点数単価	varchar	2
予備 4	varchar	255
予備 5	varchar	255
予備 6(旧診療科)	varchar	255
レセプト総括区分	varchar	1
明細情報数	int	
検索番号	varchar	255
記録条件仕様年月情報	varchar	5
請求情報	varchar	255
診療科 1・診療科名	varchar	2
診療科 1・人体の部位等	varchar	3
診療科 1・性別等	varchar	3
診療科 1・医学的処置	varchar	3
診療科 1・特定疾病	varchar	3
取込年月	varchar	6
年齢階層コード 1	varchar	3
年齢階層コード 2	varchar	3
予備 7(満年齢)	varchar	255

満年齢階層コード1	varchar	3
満年齢階層コード2	varchar	3

表 4. DPC\_保険者レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(保険者番号)	varchar	255
予備 2(保険者番号(補正後))	varchar	255
保険者番号(匿名化後)	varchar	8
診療実日数	int	
合計点数	int	
予備 3	varchar	255
回数(食事療養・生活療養)	int	
合計金額(食事療養・生活療養)	int	
職務上の事由	varchar	1
医療保険(負担金額)	varchar	9
減免区分(負担金額)	varchar	1
減額割合(負担金額)	varchar	3
減額金額(負担金額)	varchar	6
標準負担額(食事療養・生活療養)	int	
合計行フラグ	varchar	1

表 5. DPC\_コメントレコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
コメントコード	varchar	9

予備 1(文字データ)	varchar	255
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	

表 6. DPC\_症状詳記レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
症状詳記区分	varchar	2
予備 1(症状詳記データ)	varchar	255

表 7. DPC\_診断群分類レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診断群分類番号	varchar	14
今回入院年月日	varchar	7
今回退院年月日	varchar	7
D P C 転帰区分	varchar	1
予備 1(死因)	varchar	255

表 8. DPC\_傷病レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1

レコード識別情報	varchar	2
傷病名コード	varchar	7
修飾語コード	varchar	80
修飾語疑い病名フラグ	varchar	1
予備 1(傷病名称)	varchar	255
I C D 10 コード	varchar	5
傷病名区分	varchar	2
死因	varchar	1
予備 2(補足コメント)	varchar	255
主傷病決定フラグ	varchar	1

表 9. DPC\_傷病名レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
傷病名コード	varchar	7
診療開始日	varchar	7
転帰区分	varchar	1
修飾語コード	varchar	80
修飾語疑い病名フラグ	varchar	1
予備 1(傷病名称)	varchar	255
主傷病	varchar	2
予備 2(補足コメント)	varchar	255

表 10. DPC\_患者基礎レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(入退院情報)(転科の有無)	varchar	255

一般病棟以外の病棟移動の有無(入退院情報)	varchar	1
予定・緊急入院区分(入退院情報)	varchar	1
前回退院年月日(入退院情報)	varchar	7
前回同一傷病での入院の有無(入退院情報)	varchar	1
入院時年齢(診療関連情報)	int	
出生時体重(診療関連情報)	int	
J C S (診療関連情報)	varchar	3
予備 2(診療関連情報)	varchar	255
B u r n I n d e x (診療関連情報)	varchar	4
予備 3(重症度等(診療関連情報))	varchar	255
予備 4(G A F (診療関連情報))	varchar	255
予備 5(入院時月齢(診療関連情報))	varchar	255

表 11. DPC\_診療関連レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療行為コード	varchar	9
区分番号	varchar	30
実施(予定)年月日	varchar	7
予備 1	varchar	255
診療区分コード	varchar	4
予備 2(診療名称)	varchar	255

表 12. DPC\_外泊レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療年月	varchar	5
請求調整区分	varchar	1

外泊等	varchar	31
診断群分類番号	varchar	14
医療機関別係数	float	
翌月再入院(転棟)予定の有無	varchar	1

表 13. DPC\_包括評価レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療年月	varchar	5
請求調整区分	varchar	1
自他保険区分	varchar	1
負担区分	varchar	1
入院期間区分	varchar	1
入院期間区分別点数	int	
入院期間区分別入院日数	int	
包括小計点数	int	

表 14. DPC\_合計調整レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療年月	varchar	5
請求調整区分	varchar	1
自他保険区分	varchar	1
負担区分	varchar	1
包括小計点数合算	int	
包括評価点数	int	
調整点数	int	
今月包括合計点数	int	

診療識別	varchar	2
変更年月日(保険変更)	varchar	7
予備 1(文字データ(保険変更))	varchar	255

表 15. DPC\_診療行為レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
診療行為コード	varchar	9
数量データ	int	
点数	int	
回数	int	
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 1(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 2(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 3(コメント))	varchar	255
1 日の情報	varchar	3
2 日の情報	varchar	3
3 日の情報	varchar	3
4 日の情報	varchar	3
5 日の情報	varchar	3
6 日の情報	varchar	3
7 日の情報	varchar	3
8 日の情報	varchar	3
9 日の情報	varchar	3
10 日の情報	varchar	3
11 日の情報	varchar	3
12 日の情報	varchar	3
13 日の情報	varchar	3
14 日の情報	varchar	3
15 日の情報	varchar	3

16日の情報	varchar	3
17日の情報	varchar	3
18日の情報	varchar	3
19日の情報	varchar	3
20日の情報	varchar	3
21日の情報	varchar	3
22日の情報	varchar	3
23日の情報	varchar	3
24日の情報	varchar	3
25日の情報	varchar	3
26日の情報	varchar	3
27日の情報	varchar	3
28日の情報	varchar	3
29日の情報	varchar	3
30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	

表 16. DPC\_医薬品レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
医薬品コード	varchar	9
使用量	float	
点数	int	
回数	int	
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 1(文字データ 1(コメント))	varchar	255

コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 2(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 3(コメント))	varchar	255
1 日の情報	varchar	3
2 日の情報	varchar	3
3 日の情報	varchar	3
4 日の情報	varchar	3
5 日の情報	varchar	3
6 日の情報	varchar	3
7 日の情報	varchar	3
8 日の情報	varchar	3
9 日の情報	varchar	3
10 日の情報	varchar	3
11 日の情報	varchar	3
12 日の情報	varchar	3
13 日の情報	varchar	3
14 日の情報	varchar	3
15 日の情報	varchar	3
16 日の情報	varchar	3
17 日の情報	varchar	3
18 日の情報	varchar	3
19 日の情報	varchar	3
20 日の情報	varchar	3
21 日の情報	varchar	3
22 日の情報	varchar	3
23 日の情報	varchar	3
24 日の情報	varchar	3
25 日の情報	varchar	3
26 日の情報	varchar	3
27 日の情報	varchar	3
28 日の情報	varchar	3
29 日の情報	varchar	3
30 日の情報	varchar	3
31 日の情報	varchar	3
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	

表 17. DPC\_特定器材レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
特定器材コード	varchar	9
使用量	float	
点数	int	
回数	int	
単位コード	varchar	3
単価	int	
予備 1(特定器材名称)	varchar	255
予備 2(商品名及び規格又はサイズ)	varchar	255
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 4(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 5(文字データ 3(コメント))	varchar	255
1日の情報	varchar	3
2日の情報	varchar	3
3日の情報	varchar	3
4日の情報	varchar	3
5日の情報	varchar	3
6日の情報	varchar	3
7日の情報	varchar	3
8日の情報	varchar	3
9日の情報	varchar	3
10日の情報	varchar	3
11日の情報	varchar	3
12日の情報	varchar	3
13日の情報	varchar	3
14日の情報	varchar	3

15日の情報	varchar	3
16日の情報	varchar	3
17日の情報	varchar	3
18日の情報	varchar	3
19日の情報	varchar	3
20日の情報	varchar	3
21日の情報	varchar	3
22日の情報	varchar	3
23日の情報	varchar	3
24日の情報	varchar	3
25日の情報	varchar	3
26日の情報	varchar	3
27日の情報	varchar	3
28日の情報	varchar	3
29日の情報	varchar	3
30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	

表 18. DPC\_日計表レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
1日の情報	varchar	3
2日の情報	varchar	3
3日の情報	varchar	3
4日の情報	varchar	3
5日の情報	varchar	3
6日の情報	varchar	3
7日の情報	varchar	3
8日の情報	varchar	3

9日の情報	varchar	3
10日の情報	varchar	3
11日の情報	varchar	3
12日の情報	varchar	3
13日の情報	varchar	3
14日の情報	varchar	3
15日の情報	varchar	3
16日の情報	varchar	3
17日の情報	varchar	3
18日の情報	varchar	3
19日の情報	varchar	3
20日の情報	varchar	3
21日の情報	varchar	3
22日の情報	varchar	3
23日の情報	varchar	3
24日の情報	varchar	3
25日の情報	varchar	3
26日の情報	varchar	3
27日の情報	varchar	3
28日の情報	varchar	3
29日の情報	varchar	3
30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3

表 19. DPC\_コーディングデータレコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
実施年月日	varchar	7
診療識別	varchar	2
順序番号	int	
行為明細番号	varchar	3
レセプト電算処理システム用レコード	varchar	9
使用量	float	
数量データ	int	

単位コード	varchar	3
回数	int	
予備 1(特定器材名称)	varchar	255

表 20. DPC\_包括評価対象外理由レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
医科点数表算定理由	varchar	2
D P Cコード	varchar	14

表 21. MED\_レセプト管理レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
レセプト管理番号	varchar	16
予備 1(保険医療機関の所在地)	varchar	255
予備 2	varchar	255
予備 3	varchar	255
予備 4	varchar	255
予備 5	varchar	255
診療年月	varchar	5

表 22. MED\_医療機関情報レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1

公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
審査支払機関	varchar	1
都道府県	varchar	2
点数表	varchar	1
予備 1(医療機関コード)	varchar	255
医療機関コード(匿名化後)	varchar	7
予備 2(診療科コード)	varchar	255
請求年月	varchar	5
マルチボリューム識別情報	varchar	2

表 23. MED\_レセプト共通レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(年齢)	varchar	255
ID1	varchar	64
ID1N	varchar	64
ID2	varchar	64
レセプト番号	varchar	6
レセプト種別	varchar	4
診療年月	varchar	5
男女区分	varchar	1
予備 2(生年月)	varchar	255
給付割合	int	
入院年月日	varchar	7
病棟区分	varchar	8
一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分	varchar	1
レセプト特記事項	varchar	10
予備 3(病床数)	varchar	255
病床階級コード	varchar	3
割引点数単価	varchar	2
予備 4	varchar	255
予備 5	varchar	255

予備 6(旧診療科)	varchar	255
検索番号	varchar	255
記録条件仕様年月情報	varchar	5
請求情報	varchar	255
診療科 1・診療科名	varchar	2
診療科 1・人体の部位等	varchar	3
診療科 1・性別等	varchar	3
診療科 1・医学的処置	varchar	3
診療科 1・特定疾病	varchar	3
診療科 2・診療科名	varchar	2
診療科 2・人体の部位等	varchar	3
診療科 2・性別等	varchar	3
診療科 2・医学的処置	varchar	3
診療科 2・特定疾病	varchar	3
診療科 3・診療科名	varchar	2
診療科 3・人体の部位等	varchar	3
診療科 3・性別等	varchar	3
診療科 3・医学的処置	varchar	3
診療科 3・特定疾病	varchar	3
取込年月	varchar	6
年齢階層コード 1	varchar	3
年齢階層コード 2	varchar	3
予備 6(満年齢)	varchar	255
満年齢階層コード 1	varchar	3
満年齢階層コード 2	varchar	3

表 24. MED\_保険者レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(保険者番号)	varchar	255
予備 2(保険者番号(補正後))	varchar	255
保険者番号(匿名化後)	varchar	8

診療実日数	int	
合計点数	int	
予備 3	varchar	255
回数(食事療養・生活療養)	int	
合計金額(食事療養・生活療養)	int	
職務上の事由	varchar	1
医療保険(負担金額)	varchar	9
減免区分(負担金額)	varchar	1
減額割合(負担金額)	varchar	3
減額金額(負担金額)	varchar	6

表 25. MED\_傷病名レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
傷病名コード	varchar	7
診療開始日	varchar	7
転帰区分	varchar	1
修飾語コード	varchar	80
修飾語疑い病名フラグ	varchar	1
予備 1(傷病名称)	varchar	255
主傷病	varchar	2
主傷病決定フラグ	varchar	1
予備 2(補足コメント)	varchar	255

表 26. MED\_診療行為レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2

負担区分	varchar	1
診療行為コード	varchar	9
数量データ	int	
点数	int	
回数	int	
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 1(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 2(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 3(コメント))	varchar	255
1日の情報	varchar	3
2日の情報	varchar	3
3日の情報	varchar	3
4日の情報	varchar	3
5日の情報	varchar	3
6日の情報	varchar	3
7日の情報	varchar	3
8日の情報	varchar	3
9日の情報	varchar	3
10日の情報	varchar	3
11日の情報	varchar	3
12日の情報	varchar	3
13日の情報	varchar	3
14日の情報	varchar	3
15日の情報	varchar	3
16日の情報	varchar	3
17日の情報	varchar	3
18日の情報	varchar	3
19日の情報	varchar	3
20日の情報	varchar	3
21日の情報	varchar	3
22日の情報	varchar	3
23日の情報	varchar	3
24日の情報	varchar	3
25日の情報	varchar	3
26日の情報	varchar	3
27日の情報	varchar	3
28日の情報	varchar	3
29日の情報	varchar	3

30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	

表 27. MED\_医薬品レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
医薬品コード	varchar	9
使用量	float	
点数	int	
回数	int	
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 1(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 2(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 3(コメント))	varchar	255
1日の情報	varchar	3
2日の情報	varchar	3
3日の情報	varchar	3
4日の情報	varchar	3
5日の情報	varchar	3
6日の情報	varchar	3
7日の情報	varchar	3
8日の情報	varchar	3
9日の情報	varchar	3
10日の情報	varchar	3
11日の情報	varchar	3

12日の情報	varchar	3
13日の情報	varchar	3
14日の情報	varchar	3
15日の情報	varchar	3
16日の情報	varchar	3
17日の情報	varchar	3
18日の情報	varchar	3
19日の情報	varchar	3
20日の情報	varchar	3
21日の情報	varchar	3
22日の情報	varchar	3
23日の情報	varchar	3
24日の情報	varchar	3
25日の情報	varchar	3
26日の情報	varchar	3
27日の情報	varchar	3
28日の情報	varchar	3
29日の情報	varchar	3
30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	

表 28. MED\_特定器材レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
特定器材コード	varchar	9
使用量	float	
点数	int	

回数	int	
単位コード	varchar	3
単価	int	
予備 1(特定器材名称)	varchar	255
予備 2(商品名及び規格又はサイズ)	varchar	255
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 4(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 5(文字データ 3(コメント))	varchar	255
1 日の情報	varchar	3
2 日の情報	varchar	3
3 日の情報	varchar	3
4 日の情報	varchar	3
5 日の情報	varchar	3
6 日の情報	varchar	3
7 日の情報	varchar	3
8 日の情報	varchar	3
9 日の情報	varchar	3
10 日の情報	varchar	3
11 日の情報	varchar	3
12 日の情報	varchar	3
13 日の情報	varchar	3
14 日の情報	varchar	3
15 日の情報	varchar	3
16 日の情報	varchar	3
17 日の情報	varchar	3
18 日の情報	varchar	3
19 日の情報	varchar	3
20 日の情報	varchar	3
21 日の情報	varchar	3
22 日の情報	varchar	3
23 日の情報	varchar	3
24 日の情報	varchar	3
25 日の情報	varchar	3
26 日の情報	varchar	3
27 日の情報	varchar	3
28 日の情報	varchar	3
29 日の情報	varchar	3

30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	

表 29. MED\_コメントレコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
コメントコード	varchar	9
予備 1(文字データ)	varchar	255
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	

表 30. MED\_日計表レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
1日の情報	varchar	3
2日の情報	varchar	3
3日の情報	varchar	3
4日の情報	varchar	3
5日の情報	varchar	3
6日の情報	varchar	3

7日の情報	varchar	3
8日の情報	varchar	3
9日の情報	varchar	3
10日の情報	varchar	3
11日の情報	varchar	3
12日の情報	varchar	3
13日の情報	varchar	3
14日の情報	varchar	3
15日の情報	varchar	3
16日の情報	varchar	3
17日の情報	varchar	3
18日の情報	varchar	3
19日の情報	varchar	3
20日の情報	varchar	3
21日の情報	varchar	3
22日の情報	varchar	3
23日の情報	varchar	3
24日の情報	varchar	3
25日の情報	varchar	3
26日の情報	varchar	3
27日の情報	varchar	3
28日の情報	varchar	3
29日の情報	varchar	3
30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3

表 31. MED\_症状詳記レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
症状詳記区分	varchar	2
予備 1(症状詳記データ)	varchar	255

表 32. MED\_包括評価対象外理由レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
医科点数表算定理由	varchar	2
D P Cコード	varchar	14

表 33. PHA\_レセプト管理レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
レセプト管理番号	varchar	16
予備 1(保険医療機関の所在地)	varchar	255
予備 2	varchar	255
予備 3	varchar	255
予備 4	varchar	255
予備 5	varchar	255
調剤年月	varchar	5

表 34. PHA\_薬局情報レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
審査支払機関	varchar	1
都道府県	varchar	2
点数表	varchar	1
予備 1(調剤薬局コード)	varchar	255

調剤薬局コード(匿名化後)	varchar	7
請求年月	varchar	5
マルチボリューム識別情報	varchar	2

表 35. PHA\_レセプト共通レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(年齢)	varchar	255
ID1	varchar	64
ID1N	varchar	64
ID2	varchar	64
レセプト番号	varchar	6
レセプト種別	varchar	4
調剤年月	varchar	5
男女区分	varchar	1
予備 2(生年月)	varchar	255
給付割合	int	
レセプト特記事項	varchar	10
都道府県(医療機関名称・所在地)	varchar	2
点数表(医療機関名称・所在地)	varchar	1
予備 3(医療機関(医療機関名称・所在地))	varchar	255
医療機関(医療機関名称・所在地)(匿名化後)	varchar	7
予備 4	varchar	255
検索番号	varchar	30
記録条件仕様年月情報	varchar	5
請求情報	varchar	255
一部負担金区分	varchar	1
取込年月	varchar	6
年齢階層コード 1	varchar	3
年齢階層コード 2	varchar	3
予備 5(満年齢)	varchar	255
満年齢階層コード 1	varchar	3
満年齢階層コード 2	varchar	3

表 36. PHA\_保険者レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(保険者番号)	varchar	255
予備 2(保険者番号(補正後))	varchar	255
保険者番号(匿名化後)	varchar	8
処方せん受付回数	varchar	2
合計点数	int	
予備 3	varchar	255
職務上の事由	varchar	1
一部負担金	int	
予備 4	varchar	255
減免区分(負担金額)	varchar	1
減額割合(負担金額)	varchar	3
減額金額(負担金額)	varchar	6

表 37. PHA\_処方基本レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
No	varchar	2
剤形コード	varchar	1
用法コード(用法)	varchar	3
予備 1(特別指示(用法))	varchar	255
合計(単位薬剤料)	varchar	7
第一公費(単位薬剤料)	varchar	7
第二公費(単位薬剤料)	varchar	7
第三公費(単位薬剤料)	varchar	7
第四公費(単位薬剤料)	varchar	7

処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 38. PHA\_調剤情報レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
処方月日	varchar	7
調剤月日	varchar	7
処方せん受付回	int	
調剤数量	int	
負担区分(調剤料)	varchar	1
算定区分(調剤料)	varchar	1
算定先 No(調剤料)	varchar	2
コード(調剤料)	varchar	9
点数(調剤料)	int	
分割区分(分割調剤)	varchar	2
前回までの数量(分割調剤)	int	
点数(薬剤料)	int	
予備 1	varchar	255
負担区分 1(加算料)	varchar	1
コード 1(加算料)	varchar	9
点数 1(加算料)	varchar	4
負担区分 2(加算料)	varchar	1
コード 2(加算料)	varchar	9
点数 2(加算料)	varchar	4
負担区分 3(加算料)	varchar	1
コード 3(加算料)	varchar	9
点数 3(加算料)	varchar	4
負担区分 4(加算料)	varchar	1
コード 4(加算料)	varchar	9
点数 4(加算料)	varchar	4
負担区分 5(加算料)	varchar	1
コード 5(加算料)	varchar	9
点数 5(加算料)	varchar	4

負担区分 6(加算料)	varchar	1
コード 6(加算料)	varchar	9
点数 6(加算料)	varchar	4
負担区分 7(加算料)	varchar	1
コード 7(加算料)	varchar	9
点数 7(加算料)	varchar	4
負担区分 8(加算料)	varchar	1
コード 8(加算料)	varchar	9
点数 8(加算料)	varchar	4
負担区分 9(加算料)	varchar	1
コード 9(加算料)	varchar	9
点数 9(加算料)	varchar	4
負担区分 10(加算料)	varchar	1
コード 10(加算料)	varchar	9
点数 10(加算料)	varchar	4
一包化日数	varchar	3
分割調剤種類	varchar	1
前回までの一包化日数	varchar	3
コード(医師の指示による分割調剤)	varchar	9
分割区分	varchar	2
分割対象調剤数量	varchar	3
分割対象一包化日数	varchar	3
包括管理料等	varchar	2
他医療機関受診に係る処方せん受付	varchar	2
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 39. PHA\_医薬品レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
負担区分	varchar	1
医薬品コード	varchar	9

使用量	float	
予備 1	varchar	255
予備 2	varchar	255
コード(混合区分)	varchar	1
枝(混合区分)	varchar	1
配合不適区分	varchar	1
1 回用量	float	
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 40. PHA\_特定器材レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
負担区分	varchar	1
特定器材コード	varchar	9
使用量	float	
単位コード	varchar	3
単価	int	
予備 1(特定器材名称)	varchar	255
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 41. PHA\_コメントレコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
コメントコード	varchar	9
予備 1(文字データ)	varchar	255
処方番号	varchar	5

処方内番号	varchar	5
-------	---------	---

表 42. PHA\_摘要欄レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
コメントコード	varchar	9
予備 1(文字データ)	varchar	255

表 43. PHA\_基本料・薬学管理料レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1	varchar	255
処方せん受付回	varchar	2
負担区分(調剤基本料)	varchar	1
コード(調剤基本料)	varchar	9
点数(調剤基本料)	varchar	4
予備 2	varchar	255
負担区分 1(薬学管理料)	varchar	1
コード 1(薬学管理料)	varchar	9
回数 1(薬学管理料)	varchar	3
点数 1(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 2(薬学管理料)	varchar	1
コード 2(薬学管理料)	varchar	9
回数 2(薬学管理料)	varchar	3
点数 2(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 3(薬学管理料)	varchar	1
コード 3(薬学管理料)	varchar	9
回数 3(薬学管理料)	varchar	3

点数 3(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 4(薬学管理料)	varchar	1
コード 4(薬学管理料)	varchar	9
回数 4(薬学管理料)	varchar	3
点数 4(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 5(薬学管理料)	varchar	1
コード 5(薬学管理料)	varchar	9
回数 5(薬学管理料)	varchar	3
点数 5(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 6(薬学管理料)	varchar	1
コード 6(薬学管理料)	varchar	9
回数 6(薬学管理料)	varchar	3
点数 6(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 7(薬学管理料)	varchar	1
コード 7(薬学管理料)	varchar	9
回数 7(薬学管理料)	varchar	3
点数 7(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 8(薬学管理料)	varchar	1
コード 8(薬学管理料)	varchar	9
回数 8(薬学管理料)	varchar	3
点数 8(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 9(薬学管理料)	varchar	1
コード 9(薬学管理料)	varchar	9
回数 9(薬学管理料)	varchar	3
点数 9(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 10(薬学管理料)	varchar	1
コード 10(薬学管理料)	varchar	9
回数 10(薬学管理料)	varchar	3
点数 10(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 11(薬学管理料)	varchar	1
コード 11(薬学管理料)	varchar	9
回数 11(薬学管理料)	varchar	3
点数 11(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 12(薬学管理料)	varchar	1
コード 12(薬学管理料)	varchar	9
回数 12(薬学管理料)	varchar	3
点数 12(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 1(摘要薬学管理料)	varchar	1
コード 1(摘要薬学管理料)	varchar	9
回数 1(摘要薬学管理料)	varchar	3

点数 1(摘要薬学管理料)	varchar	4
負担区分 2(摘要薬学管理料)	varchar	1
コード 2(摘要薬学管理料)	varchar	9
回数 2(摘要薬学管理料)	varchar	3
点数 2(摘要薬学管理料)	varchar	4
負担区分 3(摘要薬学管理料)	varchar	1
コード 3(摘要薬学管理料)	varchar	9
回数 3(摘要薬学管理料)	varchar	3
点数 3(摘要薬学管理料)	varchar	4
前回調剤年月日(摘要薬学管理料)	varchar	7
前回調剤数量(摘要薬学管理料)	varchar	3
負担区分 1(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 1(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 1(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 1(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 2(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 2(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 2(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 2(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 3(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 3(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 3(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 3(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 4(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 4(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 4(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 4(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 5(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 5(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 5(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 5(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 6(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 6(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 6(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 6(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 7(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 7(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 7(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 7(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 8(調剤基本料加算)	varchar	1

コード 8(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 8(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 8(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 9(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 9(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 9(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 9(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 10(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 10(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 10(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 10(調剤基本料加算)	varchar	4
包括管理料等	varchar	2
他医療機関受診に係る処方せん受付	varchar	2
コード(医師の指示による分割調剤・調剤基本料)	varchar	9
コード(医師の指示による分割調剤・薬学管理料)	varchar	9
コード(医師の指示による分割調剤・摘要薬学管理料)	varchar	9

表 44. PHA\_分割技術料レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
年月	varchar	8
通番 1	varchar	10
通番 2	varchar	51
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
処方月日	varchar	7
調剤月日	varchar	7
処方せん受付回	varchar	2
分割指示回数	varchar	2
分割対象点数(保険)	varchar	7
分割後点数(保険)	varchar	7
分割対象点数(公費①)	varchar	7
分割後点数(公費①)	varchar	7
分割対象点数(公費②)	varchar	7
分割後点数(公費②)	varchar	7
分割対象点数(公費③)	varchar	7
分割後点数(公費③)	varchar	7
分割対象点数(公費④)	varchar	7
分割後点数(公費④)	varchar	7

表 45. レセプト管理レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
レセプト管理番号	varchar	16
予備 1(保険医療機関の所在地)	varchar	255
予備 2	varchar	255
予備 3	varchar	255
予備 4	varchar	255
予備 5	varchar	255
診療年月	varchar	5
調剤年月	varchar	5

表 46. 医療機関情報レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
審査支払機関	varchar	1
都道府県	varchar	2
点数表	varchar	1
予備 1(医療機関コード)	varchar	255
医療機関コード(匿名化後)	varchar	7
予備 2(診療科コード)	varchar	255
請求年月	varchar	5
マルチボリューム識別情報	varchar	2

表 47. レセプト共通レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(年齢)	varchar	255
ID1	varchar	64
ID1N	varchar	64
ID2	varchar	64
レセプト番号	varchar	6
レセプト種別	varchar	4
診療年月	varchar	5
男女区分	varchar	1
予備 2(生年月)	varchar	255
給付割合	int	
入院年月日	varchar	7
病棟区分	varchar	8
一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分	varchar	1
レセプト特記事項	varchar	10
予備 3	varchar	255
割引点数単価	varchar	2
予備 4	varchar	255
予備 5	varchar	255
予備 6(旧診療科)	varchar	255
レセプト総括区分	varchar	1
明細情報数	int	
検索番号	varchar	255
記録条件仕様年月情報	varchar	5
請求情報	varchar	255
診療科 1・診療科名	varchar	2
診療科 1・人体の部位等	varchar	3
診療科 1・性別等	varchar	3
診療科 1・医学的処置	varchar	3
診療科 1・特定疾病	varchar	3
取込年月	varchar	6

年齢階層コード 1	varchar	3
年齢階層コード 2	varchar	3
予備 7(満年齢)	varchar	255
満年齢階層コード 1	varchar	3
満年齢階層コード 2	varchar	3
予備 3(病床数)	varchar	255
病床階級コード	varchar	3
診療科 2・診療科名	varchar	2
診療科 2・人体の部位等	varchar	3
診療科 2・性別等	varchar	3
診療科 2・医学的処置	varchar	3
診療科 2・特定疾病	varchar	3
診療科 3・診療科名	varchar	2
診療科 3・人体の部位等	varchar	3
診療科 3・性別等	varchar	3
診療科 3・医学的処置	varchar	3
診療科 3・特定疾病	varchar	3
予備 6(満年齢)	varchar	255
調剤年月	varchar	5
都道府県(医療機関名称・所在地)	varchar	2
点数表(医療機関名称・所在地)	varchar	1
予備 3(医療機関(医療機関名称・所在地))	varchar	255
医療機関(医療機関名称・所在地)(匿名化後)	varchar	7
一部負担金区分	varchar	1
予備 5(満年齢)	varchar	255

表 48. 保険者レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(保険者番号)	varchar	255
予備 2(保険者番号(補正後))	varchar	255
保険者番号(匿名化後)	varchar	8
診療実日数	int	

合計点数	int	
予備 3	varchar	255
回数(食事療養・生活療養)	int	
合計金額(食事療養・生活療養)	int	
職務上の事由	varchar	1
医療保険(負担金額)	varchar	9
減免区分(負担金額)	varchar	1
減額割合(負担金額)	varchar	3
減額金額(負担金額)	varchar	6
標準負担額(食事療養・生活療養)	int	
合計行フラグ	varchar	1
処方せん受付回数	varchar	2
一部負担金	int	
予備 4	varchar	255

表 49. コメントレコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
コメントコード	varchar	9
予備 1(文字データ)	varchar	255
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 50. 症状詳記レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8

レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
症状詳記区分	varchar	2
予備 1(症状詳記データ)	varchar	255

表 51. 診断群分類レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診断群分類番号	varchar	14
今回入院年月日	varchar	7
今回退院年月日	varchar	7
D P C 転帰区分	varchar	1
予備 1(死因)	varchar	255

表 52. 傷病レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
傷病名コード	varchar	7
修飾語コード	varchar	80
修飾語疑い病名フラグ	varchar	1
予備 1(傷病名称)	varchar	255
I C D10 コード	varchar	5
傷病名区分	varchar	2

死因	varchar	1
予備 2(補足コメント)	varchar	255
主傷病決定フラグ	varchar	1

表 53. 傷病名レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
傷病名コード	varchar	7
診療開始日	varchar	7
転帰区分	varchar	1
修飾語コード	varchar	80
修飾語疑い病名フラグ	varchar	1
予備 1(傷病名称)	varchar	255
主傷病	varchar	2
予備 2(補足コメント)	varchar	255
主傷病決定フラグ	varchar	1

表 54. 患者基礎レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1(入退院情報)(転科の有無)	varchar	255
一般病棟以外の病棟移動の有無(入退院情報)	varchar	1
予定・緊急入院区分(入退院情報)	varchar	1
前回退院年月日(入退院情報)	varchar	7
前回同一傷病での入院の有無(入退院情報)	varchar	1
入院時年齢(診療関連情報)	int	

出生時体重(診療関連情報)	int	
J C S (診療関連情報)	varchar	3
予備 2(診療関連情報)	varchar	255
B u r n I n d e x (診療関連情報)	varchar	4
予備 3(重症度等(診療関連情報))	varchar	255
予備 4(G A F (診療関連情報))	varchar	255
予備 5(入院時月齢(診療関連情報))	varchar	255

表 55. 診療関連レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療行為コード	varchar	9
区分番号	varchar	30
実施(予定)年月日	varchar	7
予備 1	varchar	255
診療区分コード	varchar	4
予備 2(診療名称)	varchar	255

表 56. 外泊レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療年月	varchar	5
請求調整区分	varchar	1
外泊等	varchar	31
診断群分類番号	varchar	14
医療機関別係数	float	

翌月再入院(転棟)予定の有無	varchar	1
----------------	---------	---

表 57. 包括評価レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療年月	varchar	5
請求調整区分	varchar	1
自他保険区分	varchar	1
負担区分	varchar	1
入院期間区分	varchar	1
入院期間区分別点数	int	
入院期間区分別入院日数	int	
包括小計点数	int	

表 58. 合計調整レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療年月	varchar	5
請求調整区分	varchar	1
自他保険区分	varchar	1
負担区分	varchar	1
包括小計点数合算	int	
包括評価点数	int	
調整点数	int	
今月包括合計点数	int	
診療識別	varchar	2

変更年月日(保険変更)	varchar	7
予備 1(文字データ(保険変更))	varchar	255

表 59. 診療行為レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
診療行為コード	varchar	9
数量データ	int	
点数	int	
回数	int	
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 1(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 2(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 3(コメント))	varchar	255
1日の情報	varchar	3
2日の情報	varchar	3
3日の情報	varchar	3
4日の情報	varchar	3
5日の情報	varchar	3
6日の情報	varchar	3
7日の情報	varchar	3
8日の情報	varchar	3
9日の情報	varchar	3
10日の情報	varchar	3
11日の情報	varchar	3
12日の情報	varchar	3
13日の情報	varchar	3
14日の情報	varchar	3

15日の情報	varchar	3
16日の情報	varchar	3
17日の情報	varchar	3
18日の情報	varchar	3
19日の情報	varchar	3
20日の情報	varchar	3
21日の情報	varchar	3
22日の情報	varchar	3
23日の情報	varchar	3
24日の情報	varchar	3
25日の情報	varchar	3
26日の情報	varchar	3
27日の情報	varchar	3
28日の情報	varchar	3
29日の情報	varchar	3
30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	

表 60. 医薬品レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
医薬品コード	varchar	9
使用量	float	
点数	int	
回数	int	
コメントコード 1(コメント)	varchar	9

予備 1(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 2(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 3(コメント))	varchar	255
1 日の情報	varchar	3
2 日の情報	varchar	3
3 日の情報	varchar	3
4 日の情報	varchar	3
5 日の情報	varchar	3
6 日の情報	varchar	3
7 日の情報	varchar	3
8 日の情報	varchar	3
9 日の情報	varchar	3
10 日の情報	varchar	3
11 日の情報	varchar	3
12 日の情報	varchar	3
13 日の情報	varchar	3
14 日の情報	varchar	3
15 日の情報	varchar	3
16 日の情報	varchar	3
17 日の情報	varchar	3
18 日の情報	varchar	3
19 日の情報	varchar	3
20 日の情報	varchar	3
21 日の情報	varchar	3
22 日の情報	varchar	3
23 日の情報	varchar	3
24 日の情報	varchar	3
25 日の情報	varchar	3
26 日の情報	varchar	3
27 日の情報	varchar	3
28 日の情報	varchar	3
29 日の情報	varchar	3
30 日の情報	varchar	3
31 日の情報	varchar	3
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	

補完後回数	int	
予備 1	varchar	255
予備 2	varchar	255
コード(混合区分)	varchar	1
枝(混合区分)	varchar	1
配合不適区分	varchar	1
1 回用量	float	
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 61. 特定器材レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
特定器材コード	varchar	9
使用量	float	
点数	int	
回数	int	
単位コード	varchar	3
単価	int	
予備 1(特定器材名称)	varchar	255
予備 2(商品名及び規格又はサイズ)	varchar	255
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 4(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 5(文字データ 3(コメント))	varchar	255
1 日の情報	varchar	3
2 日の情報	varchar	3
3 日の情報	varchar	3
4 日の情報	varchar	3

5日の情報	varchar	3
6日の情報	varchar	3
7日の情報	varchar	3
8日の情報	varchar	3
9日の情報	varchar	3
10日の情報	varchar	3
11日の情報	varchar	3
12日の情報	varchar	3
13日の情報	varchar	3
14日の情報	varchar	3
15日の情報	varchar	3
16日の情報	varchar	3
17日の情報	varchar	3
18日の情報	varchar	3
19日の情報	varchar	3
20日の情報	varchar	3
21日の情報	varchar	3
22日の情報	varchar	3
23日の情報	varchar	3
24日の情報	varchar	3
25日の情報	varchar	3
26日の情報	varchar	3
27日の情報	varchar	3
28日の情報	varchar	3
29日の情報	varchar	3
30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 62. 日計表レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
----	---	----

元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
1日の情報	varchar	3
2日の情報	varchar	3
3日の情報	varchar	3
4日の情報	varchar	3
5日の情報	varchar	3
6日の情報	varchar	3
7日の情報	varchar	3
8日の情報	varchar	3
9日の情報	varchar	3
10日の情報	varchar	3
11日の情報	varchar	3
12日の情報	varchar	3
13日の情報	varchar	3
14日の情報	varchar	3
15日の情報	varchar	3
16日の情報	varchar	3
17日の情報	varchar	3
18日の情報	varchar	3
19日の情報	varchar	3
20日の情報	varchar	3
21日の情報	varchar	3
22日の情報	varchar	3
23日の情報	varchar	3
24日の情報	varchar	3
25日の情報	varchar	3
26日の情報	varchar	3
27日の情報	varchar	3
28日の情報	varchar	3
29日の情報	varchar	3
30日の情報	varchar	3
31日の情報	varchar	3

表 63. コーディングデータレコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
実施年月日	varchar	7
診療識別	varchar	2
順序番号	int	
行為明細番号	varchar	3
レセプト電算処理システム用レコード	varchar	9
使用量	float	
数量データ	int	
単位コード	varchar	3
回数	int	
予備 1(特定器材名称)	varchar	255

表 64. 包括評価対象外理由レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
医科点数表算定理由	varchar	2
D P Cコード	varchar	14

表 65. 薬局情報レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10

レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
審査支払機関	varchar	1
都道府県	varchar	2
点数表	varchar	1
予備 1(調剤薬局コード)	varchar	255
調剤薬局コード(匿名化後)	varchar	7
請求年月	varchar	5
マルチボリューム識別情報	varchar	2

表 66. 処方基本レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
No	varchar	2
剤形コード	varchar	1
用法コード(用法)	varchar	3
予備 1(特別指示(用法))	varchar	255
合計(単位薬剤料)	varchar	7
第一公費(単位薬剤料)	varchar	7
第二公費(単位薬剤料)	varchar	7
第三公費(単位薬剤料)	varchar	7
第四公費(単位薬剤料)	varchar	7
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 67. 調剤情報レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10

レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
処方月日	varchar	7
調剤月日	varchar	7
処方せん受付回	int	
調剤数量	int	
負担区分(調剤料)	varchar	1
算定区分(調剤料)	varchar	1
算定先 No(調剤料)	varchar	2
コード(調剤料)	varchar	9
点数(調剤料)	int	
分割区分(分割調剤)	varchar	2
前回までの数量(分割調剤)	int	
点数(薬剤料)	int	
予備 1	varchar	255
負担区分 1(加算料)	varchar	1
コード 1(加算料)	varchar	9
点数 1(加算料)	varchar	4
負担区分 2(加算料)	varchar	1
コード 2(加算料)	varchar	9
点数 2(加算料)	varchar	4
負担区分 3(加算料)	varchar	1
コード 3(加算料)	varchar	9
点数 3(加算料)	varchar	4
負担区分 4(加算料)	varchar	1
コード 4(加算料)	varchar	9
点数 4(加算料)	varchar	4
負担区分 5(加算料)	varchar	1
コード 5(加算料)	varchar	9
点数 5(加算料)	varchar	4
負担区分 6(加算料)	varchar	1
コード 6(加算料)	varchar	9
点数 6(加算料)	varchar	4
負担区分 7(加算料)	varchar	1
コード 7(加算料)	varchar	9
点数 7(加算料)	varchar	4
負担区分 8(加算料)	varchar	1
コード 8(加算料)	varchar	9

点数 8(加算料)	varchar	4
負担区分 9(加算料)	varchar	1
コード 9(加算料)	varchar	9
点数 9(加算料)	varchar	4
負担区分 10(加算料)	varchar	1
コード 10(加算料)	varchar	9
点数 10(加算料)	varchar	4
一包化日数	varchar	3
分割調剤種類	varchar	1
前回までの一包化日数	varchar	3
コード(医師の指示による分割調剤)	varchar	9
分割区分	varchar	2
分割対象調剤数量	varchar	3
分割対象一包化日数	varchar	3
包括管理料等	varchar	2
他医療機関受診に係る処方せん受付	varchar	2
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 68. 摘要欄レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
コメントコード	varchar	9
予備 1(文字データ)	varchar	255

表 69. 基本料・薬学管理料レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1

公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
予備 1	varchar	255
処方せん受付回	varchar	2
負担区分(調剤基本料)	varchar	1
コード(調剤基本料)	varchar	9
点数(調剤基本料)	varchar	4
予備 2	varchar	255
負担区分 1(薬学管理料)	varchar	1
コード 1(薬学管理料)	varchar	9
回数 1(薬学管理料)	varchar	3
点数 1(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 2(薬学管理料)	varchar	1
コード 2(薬学管理料)	varchar	9
回数 2(薬学管理料)	varchar	3
点数 2(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 3(薬学管理料)	varchar	1
コード 3(薬学管理料)	varchar	9
回数 3(薬学管理料)	varchar	3
点数 3(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 4(薬学管理料)	varchar	1
コード 4(薬学管理料)	varchar	9
回数 4(薬学管理料)	varchar	3
点数 4(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 5(薬学管理料)	varchar	1
コード 5(薬学管理料)	varchar	9
回数 5(薬学管理料)	varchar	3
点数 5(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 6(薬学管理料)	varchar	1
コード 6(薬学管理料)	varchar	9
回数 6(薬学管理料)	varchar	3
点数 6(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 7(薬学管理料)	varchar	1
コード 7(薬学管理料)	varchar	9
回数 7(薬学管理料)	varchar	3
点数 7(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 8(薬学管理料)	varchar	1
コード 8(薬学管理料)	varchar	9
回数 8(薬学管理料)	varchar	3
点数 8(薬学管理料)	varchar	4

負担区分 9(薬学管理料)	varchar	1
コード 9(薬学管理料)	varchar	9
回数 9(薬学管理料)	varchar	3
点数 9(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 10(薬学管理料)	varchar	1
コード 10(薬学管理料)	varchar	9
回数 10(薬学管理料)	varchar	3
点数 10(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 11(薬学管理料)	varchar	1
コード 11(薬学管理料)	varchar	9
回数 11(薬学管理料)	varchar	3
点数 11(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 12(薬学管理料)	varchar	1
コード 12(薬学管理料)	varchar	9
回数 12(薬学管理料)	varchar	3
点数 12(薬学管理料)	varchar	4
負担区分 1(摘要薬学管理料)	varchar	1
コード 1(摘要薬学管理料)	varchar	9
回数 1(摘要薬学管理料)	varchar	3
点数 1(摘要薬学管理料)	varchar	4
負担区分 2(摘要薬学管理料)	varchar	1
コード 2(摘要薬学管理料)	varchar	9
回数 2(摘要薬学管理料)	varchar	3
点数 2(摘要薬学管理料)	varchar	4
負担区分 3(摘要薬学管理料)	varchar	1
コード 3(摘要薬学管理料)	varchar	9
回数 3(摘要薬学管理料)	varchar	3
点数 3(摘要薬学管理料)	varchar	4
前回調剤年月日(摘要薬学管理料)	varchar	7
前回調剤数量(摘要薬学管理料)	varchar	3
負担区分 1(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 1(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 1(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 1(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 2(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 2(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 2(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 2(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 3(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 3(調剤基本料加算)	varchar	9

回数 3(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 3(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 4(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 4(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 4(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 4(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 5(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 5(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 5(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 5(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 6(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 6(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 6(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 6(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 7(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 7(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 7(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 7(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 8(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 8(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 8(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 8(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 9(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 9(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 9(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 9(調剤基本料加算)	varchar	4
負担区分 10(調剤基本料加算)	varchar	1
コード 10(調剤基本料加算)	varchar	9
回数 10(調剤基本料加算)	varchar	3
点数 10(調剤基本料加算)	varchar	4
包括管理料等	varchar	2
他医療機関受診に係る処方せん受付	varchar	2
コード(医師の指示による分割調剤・調剤基本料)	varchar	9
コード(医師の指示による分割調剤・薬学管理料)	varchar	9
コード(医師の指示による分割調剤・摘要薬学管理料)	varchar	9

表 70. 分割技術料レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6

年月	varchar	8
通番 1	varchar	10
通番 2	varchar	51
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
処方月日	varchar	7
調剤月日	varchar	7
処方せん受付回	varchar	2
分割指示回数	varchar	2
分割対象点数(保険)	varchar	7
分割後点数(保険)	varchar	7
分割対象点数(公費①)	varchar	7
分割後点数(公費①)	varchar	7
分割対象点数(公費②)	varchar	7
分割後点数(公費②)	varchar	7
分割対象点数(公費③)	varchar	7
分割後点数(公費③)	varchar	7
分割対象点数(公費④)	varchar	7
分割後点数(公費④)	varchar	7

表 71. 日ごと診療行為レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
日付	varchar	8
当該日回数	varchar	3
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
診療行為コード	varchar	9
数量データ	int	
点数	int	

回数	int	
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 1(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 2(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 3(コメント))	varchar	255
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	

表 72. 日ごと医薬品レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
日付	varchar	8
当該日回数	varchar	3
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
医薬品コード	varchar	9
使用量	float	
点数	int	
回数	int	
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 1(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 2(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 3(コメント))	varchar	255
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	
一連順序	int	
補完後点数	int	

補完後回数	int	
予備 1	varchar	255
予備 2	varchar	255
コード(混合区分)	varchar	1
枝(混合区分)	varchar	1
配合不適区分	varchar	1
1 回用量	float	
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 73. 日ごと特定器材レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
日付	varchar	8
当該日回数	varchar	3
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2
診療識別	varchar	2
負担区分	varchar	1
特定器材コード	varchar	9
使用量	float	
点数	int	
回数	int	
単位コード	varchar	3
単価	int	
予備 1(特定器材名称)	varchar	255
予備 2(商品名及び規格又はサイズ)	varchar	255
コメントコード 1(コメント)	varchar	9
予備 3(文字データ 1(コメント))	varchar	255
コメントコード 2(コメント)	varchar	9
予備 4(文字データ 2(コメント))	varchar	255
コメントコード 3(コメント)	varchar	9
予備 5(文字データ 3(コメント))	varchar	255
補完後診療識別	varchar	2
一連番号	int	

一連順序	int	
補完後点数	int	
補完後回数	int	
処方番号	varchar	5
処方内番号	varchar	5

表 74. 日ごと日計表レコードデータ テーブル定義

列名	型	長さ
元データ	varchar	6
年月	varchar	8
日付	varchar	8
当該日回数	varchar	3
レコード順序	varchar	10
レセプト通番	varchar	10
有効フラグ	varchar	1
公費フラグ	varchar	1
レコード識別情報	varchar	2

表 75. V\_診断群分類レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	診断群分類レコード	
レセプト通番	診断群分類レコード	
レコード識別情報	診断群分類レコード	
診断群分類番号	診断群分類レコード	
今回入院年月日	診断群分類レコード	
今回退院年月日	診断群分類レコード	
D P C 転帰区分名称	診断群分類レコード	診断群分類レコード.D P C 転帰区分の値により条件分岐して表示

表 76. V\_診断群分類レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	診断群分類レコード	
レセプト通番	診断群分類レコード	
レコード識別情報	診断群分類レコード	
診断群分類番号	診断群分類レコード	
今回入院年月日	診断群分類レコード	
今回退院年月日	診断群分類レコード	
D P C 転帰区分名称	診断群分類レコード	診断群分類レコード.D P C 転帰区分の値により条件分岐して表示

ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 77. V\_コーディングデータレコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	コーディングデータレコード	
レセプト通番	コーディングデータレコード	
レコード識別情報	コーディングデータレコード	
実施年月日	コーディングデータレコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードとコーディングデータレコード.診療識別で結合
順序番号	コーディングデータレコード	
行為明細番号	コーディングデータレコード	
レセプト電算処理システム用レ名称	レセプト電算処理システム用コードマスター	レセプト電算処理システム用コードマスターのコードとコーディングデータレコード.レセプト電算処理システム用レコードで結合
使用量	コーディングデータレコード	

数量データ	コーディングデータレコード	
単位名称	特定器材単位マスター	特定器材単位マスターのコードとコーディングデータレコード.単位コードで結合
回数	コーディングデータレコード	

表 78. V\_コーディングデータレコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	コーディングデータレコード	
レセプト通番	コーディングデータレコード	
レコード識別情報	コーディングデータレコード	
実施年月日	コーディングデータレコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードとコーディングデータレコード.診療識別で結合
順序番号	コーディングデータレコード	
行為明細番号	コーディングデータレコード	
レセプト電算処理システム用レ名称	レセプト電算処理システム用コードマスター	レセプト電算処理システム用コードマスターのコードとコーディングデータレコード.レセプト電算処理システム用レコードで結合
使用量	コーディングデータレコード	
数量データ	コーディングデータレコード	
単位名称	特定器材単位マスター	特定器材単位マスターのコードとコーディングデータレコード.単位コードで結合
回数	コーディングデータレコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 79. V\_コメントレコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	コメントレコード	
レセプト通番	コメントレコード	
レコード識別情報	コメントレコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードとコメントレコード.診療識別で結合
負担区分	コメントレコード	
コメント名称	コメントマスター	コメントマスターのコードとコメントレコード.コメントコードで結合
補完後診療識別	コメントレコード	
一連番号	コメントレコード	
一連順序	コメントレコード	
処方番号	コメントレコード	
処方内番号	コメントレコード	

表 80. V\_コメントレコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	コメントレコード	
レセプト通番	コメントレコード	
レコード識別情報	コメントレコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードとコメントレコード.診療識別で結合
負担区分	コメントレコード	

コメント名称	コメントマスター	コメントマスターのコードとコメントレコード.コメントコードで結合
補完後診療識別	コメントレコード	
一連番号	コメントレコード	
一連順序	コメントレコード	
処方番号	コメントレコード	
処方内番号	コメントレコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 81. V\_調剤情報レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	調剤情報レコード	
レセプト通番	調剤情報レコード	
レコード識別情報	調剤情報レコード	
処方月日	調剤情報レコード	
調剤月日	調剤情報レコード	
処方せん受付回	調剤情報レコード	
調剤数量	調剤情報レコード	
負担区分(調剤料)	調剤情報レコード	
算定区分(調剤料)名称	調剤情報レコード	調剤情報レコード.算定区分(調剤料)の値により条件分岐して表示
算定先 No(調剤料)	調剤情報レコード	
コード(調剤料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと調剤情報レコード.コード(調剤料)で結合

点数(調剤料)	調剤情報レコード
分割区分(分割調剤)	調剤情報レコード
前回までの数量(分割調剤)	調剤情報レコード
点数(薬剤料)	調剤情報レコード
他医療機関受診に係る処方せん受付	調剤情報レコード
処方番号	調剤情報レコード
処方内番号	調剤情報レコード

表 82. V\_調剤情報レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	調剤情報レコード	
レセプト通番	調剤情報レコード	
レコード識別情報	調剤情報レコード	
処方月日	調剤情報レコード	
調剤月日	調剤情報レコード	
処方せん受付回	調剤情報レコード	
調剤数量	調剤情報レコード	
負担区分(調剤料)	調剤情報レコード	
算定区分(調剤料)名称	調剤情報レコード	調剤情報レコード.算定区分(調剤料)の値により条件分岐して表示
算定先 No(調剤料)	調剤情報レコード	
コード(調剤料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと調剤情報レコード.コード(調剤料)で結合
点数(調剤料)	調剤情報レコード	
分割区分(分割調剤)	調剤情報レコード	
前回までの数量(分割調剤)	調剤情報レコード	
点数(薬剤料)	調剤情報レコード	
他医療機関受診に係る処方せん受付	調剤情報レコード	
処方番号	調剤情報レコード	
処方内番号	調剤情報レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 83. V\_外泊レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	外泊レコード	
レセプト通番	外泊レコード	
レコード識別情報	外泊レコード	
診療年月	外泊レコード	
請求調整区分名称	外泊レコード	外泊レコード.請求調整区分の値により条件分岐して表示
外泊等	外泊レコード	
診断群分類番号	外泊レコード	
医療機関別係数	外泊レコード	
翌月再入院(転棟)予定の有無	外泊レコード	

表 84. V\_外泊レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	外泊レコード	
レセプト通番	外泊レコード	
レコード識別情報	外泊レコード	
診療年月	外泊レコード	
請求調整区分名称	外泊レコード	外泊レコード.請求調整区分の値により条件分岐して表示
外泊等	外泊レコード	
診断群分類番号	外泊レコード	
医療機関別係数	外泊レコード	
翌月再入院(転棟)予定の有無	外泊レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 85. V\_包括評価対象外理由レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	包括評価対象外理由レコード	
レセプト通番	包括評価対象外理由レコード	
レコード識別情報	包括評価対象外理由レコード	
医科点数表算定理由名称	包括評価対象外理由レコード	包括評価対象外理由レコード.医科点数表算定理由の値により条件分岐して表示
D P Cコード	包括評価対象外理由レコード	

表 86. V\_包括評価対象外理由レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	包括評価対象外理由レコード	
レセプト通番	包括評価対象外理由レコード	
レコード識別情報	包括評価対象外理由レコード	
医科点数表算定理由名称	包括評価対象外理由レコード	包括評価対象外理由レコード.医科点数表算定理由の値により条件分岐して表示
D P Cコード	包括評価対象外理由レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 87. V\_合計調整レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	合計調整レコード	
レセプト通番	合計調整レコード	
レコード識別情報	合計調整レコード	
診療年月	合計調整レコード	
請求調整区分名称	合計調整レコード	合計調整レコード.請求調整区分の値により条件分岐して表示
自他保険区分名称	合計調整レコード	合計調整レコード.自他保険区分の値により条件分岐して表示
負担区分	合計調整レコード	
包括小計点数合算	合計調整レコード	
包括評価点数	合計調整レコード	
調整点数	合計調整レコード	
今月包括合計点数	合計調整レコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードと合計調整レコード.診療識別で結合
変更年月日(保険変更)	合計調整レコード	

表 88. V\_合計調整レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	合計調整レコード	
レセプト通番	合計調整レコード	
レコード識別情報	合計調整レコード	
診療年月	合計調整レコード	

請求調整区分名称	合計調整レコード	合計調整レコード.請求調整区分の値により条件分岐して表示
自他保険区分名称	合計調整レコード	合計調整レコード.自他保険区分の値により条件分岐して表示
負担区分	合計調整レコード	
包括小計点数合算	合計調整レコード	
包括評価点数	合計調整レコード	
調整点数	合計調整レコード	
今月包括合計点数	合計調整レコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードと合計調整レコード.診療識別で結合
変更年月日(保険変更)	合計調整レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 89. V\_包括評価レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	包括評価レコード	
レセプト通番	包括評価レコード	
レコード識別情報	包括評価レコード	
診療年月	包括評価レコード	
請求調整区分名称	包括評価レコード	包括評価レコード.請求調整区分の値により条件分岐して表示
自他保険区分名称	包括評価レコード	包括評価レコード.自他保険区分の値により条件分岐して表示
負担区分	包括評価レコード	
入院期間区分名称	包括評価レコード	包括評価レコード.入院期間区分の値により条件分岐して表示

入院期間区分別点数名称	包括評価レコード	包括評価レコード.入院期間区分別点数の値により条件分岐して表示
入院期間区分別入院日数名称	包括評価レコード	包括評価レコード.入院期間区分別入院日数の値により条件分岐して表示
包括小計点数	包括評価レコード	

表90. V\_包括評価レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	包括評価レコード	
レセプト通番	包括評価レコード	
レコード識別情報	包括評価レコード	
診療年月	包括評価レコード	
請求調整区分名称	包括評価レコード	包括評価レコード.請求調整区分の値により条件分岐して表示
自他保険区分名称	包括評価レコード	包括評価レコード.自他保険区分の値により条件分岐して表示
負担区分	包括評価レコード	
入院期間区分名称	包括評価レコード	包括評価レコード.入院期間区分の値により条件分岐して表示
入院期間区分別点数名称	包括評価レコード	包括評価レコード.入院期間区分別点数の値により条件分岐して表示
入院期間区分別入院日数名称	包括評価レコード	包括評価レコード.入院期間区分別入院日数の値により条件分岐して表示
包括小計点数	包括評価レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合

男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 91. V\_保険者レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	保険者レコード	
レセプト通番	保険者レコード	
レコード識別情報	保険者レコード	
保険者番号(匿名化後)	保険者レコード	
診療実日数	保険者レコード	
合計点数	保険者レコード	
回数(食事療養・生活療養)	保険者レコード	
合計金額(食事療養・生活療養)	保険者レコード	
職務上の事由名称	保険者レコード	保険者レコード.職務上の事由の値により条件分岐して表示
標準負担額(食事療養・生活療養)	保険者レコード	
合計行フラグ	保険者レコード	
処方せん受付回数	保険者レコード	
一部負担金	保険者レコード	

表 92. V\_保険者レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	保険者レコード	
レセプト通番	保険者レコード	
レコード識別情報	保険者レコード	
保険者番号(匿名化後)	保険者レコード	
診療実日数	保険者レコード	
合計点数	保険者レコード	
回数(食事療養・生活療養)	保険者レコード	
合計金額(食事療養・生活療養)	保険者レコード	
職務上の事由名称	保険者レコード	保険者レコード.職務上の事由の値により条件分岐して表示
標準負担額(食事療養・生活療養)	保険者レコード	
合計行フラグ	保険者レコード	

処方せん受付回数	保険者レコード	
一部負担金	保険者レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 93. V\_医療機関情報レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	医療機関情報レコード	
レセプト通番	医療機関情報レコード	
レコード識別情報	医療機関情報レコード	
審査支払機関名称	医療機関情報レコード	医療機関情報レコード.審査支払機関の値により条件分岐して表示
都道府県名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードと医療機関情報レコード.都道府県で結合
点数表名称	医療機関情報レコード	医療機関情報レコード.点数表の値により条件分岐して表示
請求年月	医療機関情報レコード	
マルチボリューム識別情報	医療機関情報レコード	

表 94. V\_医薬品レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	医薬品レコード	
レセプト通番	医薬品レコード	
レコード識別情報	医薬品レコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードと医薬品レコード.診療識別で結合

負担区分	医薬品レコード	
医薬品名称	医薬品マスター	医薬品マスターのコードと医薬品レコード.医薬品コードで結合
薬価コード	医薬品マスター1	医薬品マスター1のコードとで結合
使用量	医薬品レコード	
点数	医薬品レコード	
回数	医薬品レコード	
コメントコード 1(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと医薬品レコード.コメントコード 1(コメント)で結合
コメントコード 2(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと医薬品レコード.コメントコード 2(コメント)で結合
コメントコード 3(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと医薬品レコード.コメントコード 3(コメント)で結合
1日の情報	医薬品レコード	
2日の情報	医薬品レコード	
3日の情報	医薬品レコード	
4日の情報	医薬品レコード	
5日の情報	医薬品レコード	
6日の情報	医薬品レコード	
7日の情報	医薬品レコード	
8日の情報	医薬品レコード	
9日の情報	医薬品レコード	
10日の情報	医薬品レコード	
11日の情報	医薬品レコード	
12日の情報	医薬品レコード	
13日の情報	医薬品レコード	
14日の情報	医薬品レコード	
15日の情報	医薬品レコード	
16日の情報	医薬品レコード	
17日の情報	医薬品レコード	
18日の情報	医薬品レコード	
19日の情報	医薬品レコード	
20日の情報	医薬品レコード	
21日の情報	医薬品レコード	
22日の情報	医薬品レコード	
23日の情報	医薬品レコード	

24日の情報	医薬品レコード	
25日の情報	医薬品レコード	
26日の情報	医薬品レコード	
27日の情報	医薬品レコード	
28日の情報	医薬品レコード	
29日の情報	医薬品レコード	
30日の情報	医薬品レコード	
31日の情報	医薬品レコード	
補完後診療識別 一連番号	医薬品レコード	
一連順序	医薬品レコード	
補完後点数	医薬品レコード	
補完後回数	医薬品レコード	
コード(混合区分)名 称	医薬品レコード	医薬品レコード.コード(混合区 分)の値により条件分岐して表示
枝(混合区分)	医薬品レコード	
配合不適区分	医薬品レコード	
1回用量	医薬品レコード	
処方番号	医薬品レコード	
処方内番号	医薬品レコード	

表 95. V\_医薬品レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	医薬品レコード	
レセプト通番	医薬品レコード	
レコード識別情報	医薬品レコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードと医薬 品レコード.診療識別で結合
負担区分	医薬品レコード	
医薬品名称	医薬品マスター	医薬品マスターのコードと医薬品 レコード.医薬品コードで結合
薬価コード	医薬品マスター1	医薬品マスター1のコードとで結 合
使用量	医薬品レコード	
点数	医薬品レコード	
回数	医薬品レコード	

コメントコード 1(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと医薬品レコード.コメントコード 1(コメント)で結合
コメントコード 2(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと医薬品レコード.コメントコード 2(コメント)で結合
コメントコード 3(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと医薬品レコード.コメントコード 3(コメント)で結合
1日の情報	医薬品レコード	
2日の情報	医薬品レコード	
3日の情報	医薬品レコード	
4日の情報	医薬品レコード	
5日の情報	医薬品レコード	
6日の情報	医薬品レコード	
7日の情報	医薬品レコード	
8日の情報	医薬品レコード	
9日の情報	医薬品レコード	
10日の情報	医薬品レコード	
11日の情報	医薬品レコード	
12日の情報	医薬品レコード	
13日の情報	医薬品レコード	
14日の情報	医薬品レコード	
15日の情報	医薬品レコード	
16日の情報	医薬品レコード	
17日の情報	医薬品レコード	
18日の情報	医薬品レコード	
19日の情報	医薬品レコード	
20日の情報	医薬品レコード	
21日の情報	医薬品レコード	
22日の情報	医薬品レコード	
23日の情報	医薬品レコード	
24日の情報	医薬品レコード	
25日の情報	医薬品レコード	
26日の情報	医薬品レコード	
27日の情報	医薬品レコード	
28日の情報	医薬品レコード	
29日の情報	医薬品レコード	
30日の情報	医薬品レコード	
31日の情報	医薬品レコード	

補完後診療識別	医薬品レコード	
一連番号	医薬品レコード	
一連順序	医薬品レコード	
補完後点数	医薬品レコード	
補完後回数	医薬品レコード	
コード(混合区分)名称	医薬品レコード	医薬品レコード.コード(混合区分)の値により条件分岐して表示
枝(混合区分)	医薬品レコード	
配合不適区分	医薬品レコード	
1回用量	医薬品レコード	
処方番号	医薬品レコード	
処方内番号	医薬品レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 96. V\_基本料・薬学管理料レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	基本料・薬学管理料レコード	
レセプト通番	基本料・薬学管理料レコード	
レコード識別情報	基本料・薬学管理料レコード	
処方せん受付回	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分(調剤基本料)	基本料・薬学管理料レコード	

コード(調剤基本料) 名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード(調剤基本料)で結合
点数(調剤基本料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 1(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 1(薬学管理料) 名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 1(薬学管理料)で結合
回数 1(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 1(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 2(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 2(薬学管理料) 名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 2(薬学管理料)で結合
回数 2(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 2(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 3(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 3(薬学管理料) 名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 3(薬学管理料)で結合
回数 3(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 3(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 4(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 4(薬学管理料) 名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 4(薬学管理料)で結合
回数 4(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	

点数 4(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 5(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 5(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 5(薬学管理料)で結合
回数 5(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 5(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 6(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 6(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 6(薬学管理料)で結合
回数 6(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 6(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 7(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 7(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 7(薬学管理料)で結合
回数 7(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 7(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 8(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 8(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 8(薬学管理料)で結合
回数 8(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 8(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 9(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	

コード 9(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 9(薬学管理料)で結合
回数 9(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 9(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 10(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 10(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 10(薬学管理料)で結合
回数 10(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 10(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 11(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 11(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 11(薬学管理料)で結合
回数 11(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 11(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 12(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 12(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 12(薬学管理料)で結合
回数 12(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 12(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 1(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 1(摘要薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 1(摘要薬学管理料)で結合

回数 1(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 1(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 2(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 2(摘要薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 2(摘要薬学管理料)で結合
回数 2(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 2(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 3(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 3(摘要薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 3(摘要薬学管理料)で結合
回数 3(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 3(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
包括管理料等	基本料・薬学管理料レコード	
他医療機関受診に係る処方せん受付	基本料・薬学管理料レコード	
コード(医師の指示による分割調剤・調剤基本料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード(医師の指示による分割調剤・調剤基本料)で結合
コード(医師の指示による分割調剤・薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード(医師の指示による分割調剤・薬学管理料)で結合
コード(医師の指示による分割調剤・摘要薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード(医師の指示による分割調剤・摘要薬学管理料)で結合

表 97. V\_基本料・薬学管理料レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	基本料・薬学管理料レコード	
レセプト通番	基本料・薬学管理料レコード	
レコード識別情報	基本料・薬学管理料レコード	
処方せん受付回	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分(調剤基本料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード(調剤基本料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード(調剤基本料)で結合
点数(調剤基本料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 1(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 1(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード1(薬学管理料)で結合
回数 1(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 1(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 2(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 2(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード2(薬学管理料)で結合
回数 2(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 2(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 3(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 3(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード3(薬学管理料)で結合

回数 3(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 3(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 4(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 4(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード4(薬学管理料)で結合
回数 4(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 4(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 5(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 5(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード5(薬学管理料)で結合
回数 5(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 5(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 6(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 6(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード6(薬学管理料)で結合
回数 6(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 6(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 7(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 7(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード7(薬学管理料)で結合
回数 7(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 7(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	

負担区分 8(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 8(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 8(薬学管理料)で結合
回数 8(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 8(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 9(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 9(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 9(薬学管理料)で結合
回数 9(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 9(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 10(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 10(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 10(薬学管理料)で結合
回数 10(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 10(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 11(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 11(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 11(薬学管理料)で結合
回数 11(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 11(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 12(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	

コード 12(薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 12(薬学管理料)で結合
回数 12(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 12(薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 1(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 1(摘要薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 1(摘要薬学管理料)で結合
回数 1(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 1(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 2(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 2(摘要薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 2(摘要薬学管理料)で結合
回数 2(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 2(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
負担区分 3(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
コード 3(摘要薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード 3(摘要薬学管理料)で結合
回数 3(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
点数 3(摘要薬学管理料)	基本料・薬学管理料レコード	
包括管理料等	基本料・薬学管理料レコード	
他医療機関受診に係る処方せん受付	基本料・薬学管理料レコード	

コード(医師の指示による分割調剤・調剤基本料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード(医師の指示による分割調剤・調剤基本料)で結合
コード(医師の指示による分割調剤・薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード(医師の指示による分割調剤・薬学管理料)で結合
コード(医師の指示による分割調剤・摘要薬学管理料)名称	調剤行為マスター	調剤行為マスターのコードと基本料・薬学管理料レコード.コード(医師の指示による分割調剤・摘要薬学管理料)で結合
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 98. V\_患者基礎レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	患者基礎レコード	
レセプト通番	患者基礎レコード	
レコード識別情報	患者基礎レコード	
一般病棟以外の病棟移動の有無(入退院情報)	患者基礎レコード	
予定・緊急入院区分(入退院情報)名称	患者基礎レコード	患者基礎レコード.予定・緊急入院区分(入退院情報)の値により条件分岐して表示
前回退院年月日(入退院情報)	患者基礎レコード	

前回同一傷病での入院の有無(入退院情報)	患者基礎レコード
入院時年齢(診療関連情報)	患者基礎レコード
出生時体重(診療関連情報)	患者基礎レコード
J C S (診療関連情報)	患者基礎レコード
B u r n I n d e x (診療関連情報)	患者基礎レコード
予備 4(G A F (診療関連情報))	患者基礎レコード
予備 5(入院時月齢(診療関連情報))	患者基礎レコード

表 99. V\_患者基礎レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	患者基礎レコード	
レセプト通番	患者基礎レコード	
レコード識別情報	患者基礎レコード	
一般病棟以外の病棟移動の有無(入退院情報)	患者基礎レコード	
予定・緊急入院区分(入退院情報)名称	患者基礎レコード	患者基礎レコード.予定・緊急入院区分(入退院情報)の値により条件分岐して表示
前回退院年月日(入退院情報)	患者基礎レコード	
前回同一傷病での入院の有無(入退院情報)	患者基礎レコード	
入院時年齢(診療関連情報)	患者基礎レコード	
出生時体重(診療関連情報)	患者基礎レコード	
J C S (診療関連情報)	患者基礎レコード	
B u r n I n d e x (診療関連情報)	患者基礎レコード	
予備 4(G A F (診療関連情報))	患者基礎レコード	

予備 5(入院時月齢(診療関連情報))	患者基礎レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 100. V\_レセプト管理レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	レセプト管理レコード	
レセプト通番	レセプト管理レコード	
レコード識別情報	レセプト管理レコード	
レセプト管理番号	レセプト管理レコード	
診療年月	レセプト管理レコード	
調剤年月	レセプト管理レコード	

表 101. V\_レセプト管理レコード医療機関情報レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	医療機関情報レコード	
レセプト通番	医療機関情報レコード	
レコード識別情報	医療機関情報レコード	
審査支払機関名称	医療機関情報レコード	医療機関情報レコード.審査支払機関の値により条件分岐して表示
都道府県名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードと医療機関情報レコード.都道府県で結合
点数表名称	医療機関情報レコード	医療機関情報レコード.点数表の値により条件分岐して表示
請求年月	医療機関情報レコード	

マルチボリューム識別 情報	医療機関情報レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードと レセプト共通レコード.レセプト 種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分 の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分 の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合

満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示
レセプト管理番号	レセプト管理レコード	

表 102. V\_レセプト管理レコード薬局情報レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	薬局情報レコード	
レセプト通番	薬局情報レコード	
レコード識別情報	薬局情報レコード	
審査支払機関名称	薬局情報レコード	薬局情報レコード.審査支払機関の値により条件分岐して表示
点数表名称	薬局情報レコード	薬局情報レコード.点数表の値により条件分岐して表示
請求年月	薬局情報レコード	
マルチボリューム識別情報	薬局情報レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示
レセプト管理番号	レセプト管理レコード	

表 103. V\_日計表レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	日計表レコード	
レセプト通番	日計表レコード	
レコード識別情報	日計表レコード	
1日の情報	日計表レコード	
2日の情報	日計表レコード	
3日の情報	日計表レコード	
4日の情報	日計表レコード	
5日の情報	日計表レコード	
6日の情報	日計表レコード	
7日の情報	日計表レコード	
8日の情報	日計表レコード	
9日の情報	日計表レコード	
10日の情報	日計表レコード	
11日の情報	日計表レコード	
12日の情報	日計表レコード	
13日の情報	日計表レコード	
14日の情報	日計表レコード	
15日の情報	日計表レコード	
16日の情報	日計表レコード	
17日の情報	日計表レコード	
18日の情報	日計表レコード	
19日の情報	日計表レコード	
20日の情報	日計表レコード	
21日の情報	日計表レコード	
22日の情報	日計表レコード	
23日の情報	日計表レコード	
24日の情報	日計表レコード	
25日の情報	日計表レコード	
26日の情報	日計表レコード	
27日の情報	日計表レコード	

28日の情報	日計表レコード
29日の情報	日計表レコード
30日の情報	日計表レコード
31日の情報	日計表レコード

表 104. V\_日計表レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	日計表レコード	
レセプト通番	日計表レコード	
レコード識別情報	日計表レコード	
1日の情報	日計表レコード	
2日の情報	日計表レコード	
3日の情報	日計表レコード	
4日の情報	日計表レコード	
5日の情報	日計表レコード	
6日の情報	日計表レコード	
7日の情報	日計表レコード	
8日の情報	日計表レコード	
9日の情報	日計表レコード	
10日の情報	日計表レコード	
11日の情報	日計表レコード	
12日の情報	日計表レコード	
13日の情報	日計表レコード	
14日の情報	日計表レコード	
15日の情報	日計表レコード	
16日の情報	日計表レコード	
17日の情報	日計表レコード	
18日の情報	日計表レコード	
19日の情報	日計表レコード	
20日の情報	日計表レコード	
21日の情報	日計表レコード	
22日の情報	日計表レコード	
23日の情報	日計表レコード	
24日の情報	日計表レコード	
25日の情報	日計表レコード	
26日の情報	日計表レコード	
27日の情報	日計表レコード	
28日の情報	日計表レコード	
29日の情報	日計表レコード	
30日の情報	日計表レコード	

31日の情報	日計表レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 105. V\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	レセプト共通レコード	
レセプト通番	レセプト共通レコード	
レコード識別情報	レセプト共通レコード	
ID1	レセプト共通レコード	
ID1N	レセプト共通レコード	
ID2	レセプト共通レコード	
レセプト番号	レセプト共通レコード	
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	
入院年月日	レセプト共通レコード	
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	
明細情報数	レセプト共通レコード	
検索番号	レセプト共通レコード	
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	
請求情報	レセプト共通レコード	
取込年月	レセプト共通レコード	

年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	
レコード順序終端	レセプト共通レコード	
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	
病床階級コード	レセプト共通レコード	
調剤年月	レセプト共通レコード	
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 106. V\_レセプト共通レコード\_レセプト管理レコード医療機関情報レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	医療機関情報レコード	
レセプト通番	医療機関情報レコード	
レコード識別情報	医療機関情報レコード	
審査支払機関名称	医療機関情報レコード	医療機関情報レコード.審査支払機関の値により条件分岐して表示
都道府県名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードと医療機関情報レコード.都道府県で結合
点数表名称	医療機関情報レコード	医療機関情報レコード.点数表の値により条件分岐して表示
請求年月	医療機関情報レコード	
マルチボリューム識別情報	医療機関情報レコード	
ID1	レセプト共通レコード	
ID1N	レセプト共通レコード	
ID2	レセプト共通レコード	
レセプト番号	レセプト共通レコード	
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示

給付割合	レセプト共通レコード	
入院年月日	レセプト共通レコード	
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	
明細情報数	レセプト共通レコード	
検索番号	レセプト共通レコード	
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	
請求情報	レセプト共通レコード	
取込年月	レセプト共通レコード	
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	
病床階級コード	レセプト共通レコード	
調剤年月	レセプト共通レコード	
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示
レセプト管理番号	レセプト管理レコード	

表 107. V\_レセプト共通レコード\_レセプト管理レコード薬局情報レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	薬局情報レコード	
レセプト通番	薬局情報レコード	
レコード識別情報	薬局情報レコード	
審査支払機関名称	薬局情報レコード	薬局情報レコード.審査支払機関の値により条件分岐して表示
点数表名称	薬局情報レコード	薬局情報レコード.点数表の値により条件分岐して表示
請求年月	薬局情報レコード	
マルチボリューム識別情報	薬局情報レコード	
ID1	レセプト共通レコード	
ID1N	レセプト共通レコード	
ID2	レセプト共通レコード	

レセプト番号	レセプト共通レコード	
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	
入院年月日	レセプト共通レコード	
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	
明細情報数	レセプト共通レコード	
検索番号	レセプト共通レコード	
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	
請求情報	レセプト共通レコード	
取込年月	レセプト共通レコード	
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	
病床階級コード	レセプト共通レコード	
調剤年月	レセプト共通レコード	
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示
レセプト管理番号	レセプト管理レコード	

表 108. V\_傷病レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	傷病レコード	
レセプト通番	傷病レコード	
レコード識別情報	傷病レコード	

傷病名名称	傷病名マスター	傷病名マスターのコードと傷病レコード.傷病名コードで結合
修飾語コード	傷病レコード	
修飾語疑い病名フラグ	傷病レコード	
予備 1(傷病名称)	傷病レコード	
ICD10 名称	ICD10 マスター	ICD10 マスターのコードと傷病レコード.ICD10 コードで結合
傷病名区分	傷病レコード	
死因	傷病レコード	
予備 2(補足コメント)	傷病レコード	
主傷病決定フラグ	傷病レコード	

表 109. V\_傷病レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	傷病レコード	
レセプト通番	傷病レコード	
レコード識別情報	傷病レコード	
傷病名名称	傷病名マスター	傷病名マスターのコードと傷病レコード.傷病名コードで結合
修飾語コード	傷病レコード	
修飾語疑い病名フラグ	傷病レコード	
予備 1(傷病名称)	傷病レコード	
ICD10 名称	ICD10 マスター	ICD10 マスターのコードと傷病レコード.ICD10 コードで結合
傷病名区分	傷病レコード	
死因	傷病レコード	
予備 2(補足コメント)	傷病レコード	
主傷病決定フラグ	傷病レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 110. V\_処方基本レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	処方基本レコード	
レセプト通番	処方基本レコード	
レコード識別情報 No	処方基本レコード	
剤形名称	処方基本レコード	処方基本レコード.剤形コードの値により条件分岐して表示
用法コード(用法)名称	用法マスター	用法マスターのコードと処方基本レコード.用法コード(用法)で結合
合計(単位薬剤料)	処方基本レコード	
処方番号	処方基本レコード	
処方内番号	処方基本レコード	

表 111. V\_処方基本レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	処方基本レコード	
レセプト通番	処方基本レコード	
レコード識別情報 No	処方基本レコード	
剤形名称	処方基本レコード	処方基本レコード.剤形コードの値により条件分岐して表示
用法コード(用法)名称	用法マスター	用法マスターのコードと処方基本レコード.用法コード(用法)で結合
合計(単位薬剤料)	処方基本レコード	
処方番号	処方基本レコード	
処方内番号	処方基本レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 112. V\_診療行為レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	診療行為レコード	
レセプト通番	診療行為レコード	
レコード識別情報	診療行為レコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードと診療行為レコード.診療識別で結合
負担区分	診療行為レコード	
診療行為名称	診療行為マスター	診療行為マスターのコードと診療行為レコード.診療行為コードで結合
数量データ	診療行為レコード	
点数	診療行為レコード	
回数	診療行為レコード	
コメントコード 1(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと診療行為レコード.コメントコード 1(コメント)で結合
コメントコード 2(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと診療行為レコード.コメントコード 2(コメント)で結合
コメントコード 3(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと診療行為レコード.コメントコード 3(コメント)で結合
1日の情報	診療行為レコード	
2日の情報	診療行為レコード	
3日の情報	診療行為レコード	
4日の情報	診療行為レコード	
5日の情報	診療行為レコード	
6日の情報	診療行為レコード	

7日の情報	診療行為レコード
8日の情報	診療行為レコード
9日の情報	診療行為レコード
10日の情報	診療行為レコード
11日の情報	診療行為レコード
12日の情報	診療行為レコード
13日の情報	診療行為レコード
14日の情報	診療行為レコード
15日の情報	診療行為レコード
16日の情報	診療行為レコード
17日の情報	診療行為レコード
18日の情報	診療行為レコード
19日の情報	診療行為レコード
20日の情報	診療行為レコード
21日の情報	診療行為レコード
22日の情報	診療行為レコード
23日の情報	診療行為レコード
24日の情報	診療行為レコード
25日の情報	診療行為レコード
26日の情報	診療行為レコード
27日の情報	診療行為レコード
28日の情報	診療行為レコード
29日の情報	診療行為レコード
30日の情報	診療行為レコード
31日の情報	診療行為レコード
補完後診療識別	診療行為レコード
一連番号	診療行為レコード
一連順序	診療行為レコード
補完後点数	診療行為レコード
補完後回数	診療行為レコード

表 113. V\_診療行為レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	診療行為レコード	
レセプト通番	診療行為レコード	
レコード識別情報	診療行為レコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードと診療行為レコード.診療識別で結合
負担区分	診療行為レコード	

診療行為名称	診療行為マスター	診療行為マスターのコードと診療行為レコード.診療行為コードで結合
数量データ	診療行為レコード	
点数	診療行為レコード	
回数	診療行為レコード	
コメントコード 1(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと診療行為レコード.コメントコード 1(コメント)で結合
コメントコード 2(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと診療行為レコード.コメントコード 2(コメント)で結合
コメントコード 3(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと診療行為レコード.コメントコード 3(コメント)で結合
1日の情報	診療行為レコード	
2日の情報	診療行為レコード	
3日の情報	診療行為レコード	
4日の情報	診療行為レコード	
5日の情報	診療行為レコード	
6日の情報	診療行為レコード	
7日の情報	診療行為レコード	
8日の情報	診療行為レコード	
9日の情報	診療行為レコード	
10日の情報	診療行為レコード	
11日の情報	診療行為レコード	
12日の情報	診療行為レコード	
13日の情報	診療行為レコード	
14日の情報	診療行為レコード	
15日の情報	診療行為レコード	
16日の情報	診療行為レコード	
17日の情報	診療行為レコード	
18日の情報	診療行為レコード	
19日の情報	診療行為レコード	
20日の情報	診療行為レコード	
21日の情報	診療行為レコード	
22日の情報	診療行為レコード	
23日の情報	診療行為レコード	
24日の情報	診療行為レコード	
25日の情報	診療行為レコード	

26日の情報	診療行為レコード	
27日の情報	診療行為レコード	
28日の情報	診療行為レコード	
29日の情報	診療行為レコード	
30日の情報	診療行為レコード	
31日の情報	診療行為レコード	
補完後診療識別 一連番号	診療行為レコード	
一連順序	診療行為レコード	
補完後点数	診療行為レコード	
補完後回数	診療行為レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードと レセプト共通レコード.レセプト 種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分 の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分 の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列 の範囲指定で結合

請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 114. V\_症状詳記レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	症状詳記レコード	
レセプト通番	症状詳記レコード	
レコード識別情報	症状詳記レコード	
症状詳記区分	症状詳記レコード	

表 115. V\_症状詳記レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	症状詳記レコード	
レセプト通番	症状詳記レコード	
レコード識別情報	症状詳記レコード	
症状詳記区分	症状詳記レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 116. V\_診療関連レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	診療関連レコード	
レセプト通番	診療関連レコード	
レコード識別情報	診療関連レコード	
診療行為名称	診療行為マスター	診療行為マスターのコードと診療関連レコード.診療行為コードで結合
区分番号	診療関連レコード	
実施(予定)年月日	診療関連レコード	
診療区分コード	診療関連レコード	

表 117. V\_診療関連レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	診療関連レコード	
レセプト通番	診療関連レコード	
レコード識別情報	診療関連レコード	
診療行為名称	診療行為マスター	診療行為マスターのコードと診療関連レコード.診療行為コードで結合
区分番号	診療関連レコード	
実施(予定)年月日	診療関連レコード	
診療区分コード	診療関連レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 118. V\_分割技術料レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
通番 1	分割技術料レコード	
通番 2	分割技術料レコード	
レコード識別情報	分割技術料レコード	
処方月日	分割技術料レコード	
調剤月日	分割技術料レコード	
処方せん受付回	分割技術料レコード	
分割指示回数	分割技術料レコード	

表 119. V\_分割技術料レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
通番 1	分割技術料レコード	
通番 2	分割技術料レコード	
レコード識別情報	分割技術料レコード	
処方月日	分割技術料レコード	
調剤月日	分割技術料レコード	
処方せん受付回	分割技術料レコード	
分割指示回数	分割技術料レコード	
レコード順序	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト通番	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 120. V\_傷病名レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	傷病名レコード	
レセプト通番	傷病名レコード	
レコード識別情報	傷病名レコード	
傷病名名称	傷病名マスター	傷病名マスターのコードと傷病名レコード.傷病名コードで結合
診療開始日	傷病名レコード	
転帰区分名称	傷病名レコード	傷病名レコード.転帰区分の値により条件分岐して表示
修飾語コード	傷病名レコード	
修飾語疑い病名フラグ	傷病名レコード	
主傷病	傷病名レコード	
主傷病決定フラグ	傷病名レコード	

表 121. V\_傷病名レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	傷病名レコード	
レセプト通番	傷病名レコード	
レコード識別情報	傷病名レコード	
傷病名名称	傷病名マスター	傷病名マスターのコードと傷病名レコード.傷病名コードで結合
診療開始日	傷病名レコード	
転帰区分名称	傷病名レコード	傷病名レコード.転帰区分の値により条件分岐して表示
修飾語コード	傷病名レコード	
修飾語疑い病名フラグ	傷病名レコード	
主傷病	傷病名レコード	
主傷病決定フラグ	傷病名レコード	

ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

満年齢階層コード2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 122. V\_摘要欄レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	摘要欄レコード	
レセプト通番	摘要欄レコード	
レコード識別情報	摘要欄レコード	
コメント名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと摘要欄レコード.コメントコードで結合

表 123. V\_摘要欄レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	摘要欄レコード	
レセプト通番	摘要欄レコード	
レコード識別情報	摘要欄レコード	
コメント名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと摘要欄レコード.コメントコードで結合
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示
レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合

都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 124. V\_特定器材レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	特定器材レコード	
レセプト通番	特定器材レコード	
レコード識別情報	特定器材レコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードと特定器材レコード.診療識別で結合
負担区分	特定器材レコード	
特定器材名称	特定器材マスター	特定器材マスターのコードと特定器材レコード.特定器材コードで結合
使用量	特定器材レコード	
点数	特定器材レコード	
回数	特定器材レコード	
单位名称	特定器材単位マスター	特定器材単位マスターのコードと特定器材レコード.単位コードで結合
単価	特定器材レコード	
コメントコード 1(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと特定器材レコード.コメントコード 1(コメント)で結合
コメントコード 2(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと特定器材レコード.コメントコード 2(コメント)で結合
コメントコード 3(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと特定器材レコード.コメントコード 3(コメント)で結合
1日の情報	特定器材レコード	
2日の情報	特定器材レコード	
3日の情報	特定器材レコード	
4日の情報	特定器材レコード	
5日の情報	特定器材レコード	
6日の情報	特定器材レコード	

7日の情報	特定器材レコード
8日の情報	特定器材レコード
9日の情報	特定器材レコード
10日の情報	特定器材レコード
11日の情報	特定器材レコード
12日の情報	特定器材レコード
13日の情報	特定器材レコード
14日の情報	特定器材レコード
15日の情報	特定器材レコード
16日の情報	特定器材レコード
17日の情報	特定器材レコード
18日の情報	特定器材レコード
19日の情報	特定器材レコード
20日の情報	特定器材レコード
21日の情報	特定器材レコード
22日の情報	特定器材レコード
23日の情報	特定器材レコード
24日の情報	特定器材レコード
25日の情報	特定器材レコード
26日の情報	特定器材レコード
27日の情報	特定器材レコード
28日の情報	特定器材レコード
29日の情報	特定器材レコード
30日の情報	特定器材レコード
31日の情報	特定器材レコード
補完後診療識別	特定器材レコード
一連番号	特定器材レコード
一連順序	特定器材レコード
補完後点数	特定器材レコード
補完後回数	特定器材レコード
処方番号	特定器材レコード
処方内番号	特定器材レコード

表 125. V\_特定器材レコード\_レセプト共通レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	特定器材レコード	
レセプト通番	特定器材レコード	
レコード識別情報	特定器材レコード	
診療識別名称	診療識別マスター	診療識別マスターのコードと特定器材レコード.診療識別で結合

負担区分	特定器材レコード	
特定器材名称	特定器材マスター	特定器材マスターのコードと特定器材レコード.特定器材コードで結合
使用量	特定器材レコード	
点数	特定器材レコード	
回数	特定器材レコード	
単位名称	特定器材単位マスター	特定器材単位マスターのコードと特定器材レコード.単位コードで結合
単価	特定器材レコード	
コメントコード 1(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと特定器材レコード.コメントコード 1(コメント)で結合
コメントコード 2(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと特定器材レコード.コメントコード 2(コメント)で結合
コメントコード 3(コメント)名称	コメントマスター	コメントマスターのコードと特定器材レコード.コメントコード 3(コメント)で結合
1日の情報	特定器材レコード	
2日の情報	特定器材レコード	
3日の情報	特定器材レコード	
4日の情報	特定器材レコード	
5日の情報	特定器材レコード	
6日の情報	特定器材レコード	
7日の情報	特定器材レコード	
8日の情報	特定器材レコード	
9日の情報	特定器材レコード	
10日の情報	特定器材レコード	
11日の情報	特定器材レコード	
12日の情報	特定器材レコード	
13日の情報	特定器材レコード	
14日の情報	特定器材レコード	
15日の情報	特定器材レコード	
16日の情報	特定器材レコード	
17日の情報	特定器材レコード	
18日の情報	特定器材レコード	
19日の情報	特定器材レコード	
20日の情報	特定器材レコード	

21日の情報	特定器材レコード	
22日の情報	特定器材レコード	
23日の情報	特定器材レコード	
24日の情報	特定器材レコード	
25日の情報	特定器材レコード	
26日の情報	特定器材レコード	
27日の情報	特定器材レコード	
28日の情報	特定器材レコード	
29日の情報	特定器材レコード	
30日の情報	特定器材レコード	
31日の情報	特定器材レコード	
補完後診療識別	特定器材レコード	
一連番号	特定器材レコード	
一連順序	特定器材レコード	
補完後点数	特定器材レコード	
補完後回数	特定器材レコード	
処方番号	特定器材レコード	
処方内番号	特定器材レコード	
ID1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID1N	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
ID2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト種別名称	レセプト種別マスター	レセプト種別マスターのコードとレセプト共通レコード.レセプト種別で結合
診療年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
男女区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.男女区分の値により条件分岐して表示
給付割合	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
入院年月日	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病棟区分名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.病棟区分の値により条件分岐して表示

レセプト総括区分	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
明細情報数	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
検索番号	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
記録条件仕様年月情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
請求情報	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
取込年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 1	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
満年齢階層コード 2	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
レセプト特記事項	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
病床階級コード	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
調剤年月	レセプト共通レコード	レセプト通番列、レコード順序列の範囲指定で結合
都道府県(医療機関名称・所在地)名称	都道府県マスター	都道府県マスターのコードとレセプト共通レコード.都道府県(医療機関名称・所在地)で結合
点数表(医療機関名称・所在地)名称	レセプト共通レコード	レセプト共通レコード.点数表(医療機関名称・所在地)の値により条件分岐して表示

表 126. V\_薬局情報レコードビュー定義

列名	データ元テーブル	連携方法
レコード順序	薬局情報レコード	
レセプト通番	薬局情報レコード	
レコード識別情報	薬局情報レコード	

審査支払機関名称	薬局情報レコード	薬局情報レコード.審査支払機関の値により条件分岐して表示
点数表名称	薬局情報レコード	薬局情報レコード.点数表の値により条件分岐して表示
請求年月	薬局情報レコード	
マルチボリューム識別 情報	薬局情報レコード	

---

## 患者ケア標準書作成と AMED 実用化研究班との連携

分担研究者： 村山 圭 （千葉県こども病院代謝科）

### 研究要旨

ミトコンドリア病は希少疾患であり、疾患を克服するためには早期診断、早期治療、新しい治療法の開発に進んで行くことが必要である。今年度も引き続き患者ケア標準書として2017年に出版した「ミトコンドリア病診療マニュアル2017」の改定作業をAMED実用化研究班（村山班）と共同で進めた。

本研究班ではMELAS、CPEO/KSS、MERRF、ミトコンドリア糖尿病、Leber病に関して、また実用化研究班ではLeigh脳症、ミトコンドリア肝症、ミトコンドリア心筋症、新生児ミトコンドリア病、ミトコンドリア腎症、ミトコンドリア難聴、ミトコンドリアニューロパチーに関して担当として、両研究班で連携しつつ診療マニュアルの策定を進めている。さらに全般的な診断や治療を含む総論部分も連携しつつ進めていくこととして、2022年度内の出版を目指して改訂作業を進めている。

### A. 研究目的

ミトコンドリア病は希少難病であり、その克服のためには、疾患の早期診断、早期治療、新規治療法の開発等に進んで行くことが重要である。そのために患者標準ケア書としての診療ガイドラインの策定は重要であり、本邦ではAMED実用化研究班と連携して進めていく必要がある。本研究ではAMED実用化研究班である村山班と本研究班との連携によって「ミトコンドリア病診療マニュアル2017」の改訂作業を行うことを目的とした。

### B. 研究方法および研究結果

2021年度も新型コロナウイルスの影響によりface to faceでの会議等は叶わなかったものの、オンライン会議を通じて診療マニュアル2017の改訂作業を進めていった。数名が本研究班と実用化研究班の分担者になっており、コアメンバーとして小会議を行いながら、診療マニュアルの改訂作業を進めていった。

### C. 研究結果

#### 診療マニュアルの改訂作業の概要

・AMED難治性疾患実用化研究事業（村山班）と難治性疾患政策研究事業（後藤班）の連携

・作成方法はCQを設定、文献検索も初版に準ずる

#### 対象

ミトコンドリア病の診断と治療に関わる医師（主に内科医、小児科医）

#### 目的

- ・診断・治療の標準化
- ・実臨床に役立つ情報を提供する

“best practice”を目指して

#### 構成

総論と各論からなる。

総論：治療可能な疾患、代謝救急、症状・臓器別の対応法を追加（てんかん、糖尿病、眼合併症など病型横断的な症状）

#### 各論

Leigh 脳症・ミトコンドリア肝症・ミトコンドリア心筋症・新生児ミトコンドリア病・MELAS・MERRF・CPEO/KSS・ミトコンドリア腎症・ミトコンドリア難聴・ミトコンドリアニューロパチー(含 MNGIE)・ミトコンドリア糖尿病、Leber 病から構成される。

今年度は CQ 設定を済ませ、文献検索も行って実際の執筆へと進めていった。今後、相互査読やパブリックコメントの募集などを行う予定である。

(倫理面への配慮)

今回は患者情報を扱う場面はなかったものの、今後そうした情報が出る際には慎重にその是非を検討するようにした。

#### D. 考察

ミトコンドリア病診療マニュアル(診療ガイドライン)の策定は、診療基盤の構築を行う上で非常に重要な作業であり、ミトコンドリア病患者ケアの標準手順書として診療の質を担保していくことに寄与する。既に 2017 年に AMED 実用化研究班が主導して策定したが、その後の遺伝子型と表現型の相関など各病型において新しいエビデンスが蓄積されており、それらを改訂版に反映させていく必要がある。特にこの 3 年間で Leigh 脳症、新生児ミトコンドリア病、ミトコンドリア肝症、ミトコンドリア腎症、ミトコンドリア心筋症の分野では本邦の表現型、遺伝子型、予後などをまとめた論文発表が AMED 実用化研究班からなされており、これらを反映させていくことは本邦の診療マニュアル改訂において極めて重要である。

また、今回の診療マニュアル改訂には、Leigh 脳症、ミトコンドリア肝症、ミトコンドリア心筋症、新生児ミトコンドリア病、MELAS、MERRF、CPEO/KSS 等に加えて新たにミトコンドリア腎症、ミトコンドリア難聴、ミトコンドリアニューロパチー(含 MNGIE)、ミトコンドリア糖尿病、Leber 病も加える予定である。ミトコンドリア病の臨床病型には多様性があり、こうした多様性にも十分対応できるようなものにすることが重要である。

#### E. 結論

希少疾患であるミトコンドリア病の診療マニュアルの改訂作業を AMED 実用化研究班と連携して進めている。2022 年度内の出版に向けて新しいエビデンスを盛り込み多様な病型にも対応できるようにする。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. Imai-Okazaki A, Yagi N, Nitta KR, Murayama K, Ohtake A, Okazaki Y. Clinical heterogeneity in patients with m.4412G > A MT-TM mutation and different heteroplasmy levels. *Mitochondrion*. 2021 Jul;59:214-215. doi: 10.1016/j.mito.2021.06.001.
2. Ban R, Liu Z, Shimura M, Tong X, Wang J, Yang L, Xu M, Xiao J, Murayama K, Elstner M, Prokisch H, Fang F. Biallelic COA7-Variants Leading to Developmental Regression With Progressive Spasticity and Brain Atrophy in a Chinese Patient. *Front Genet*. 2021 Jul 12;12:685035. doi: 10.3389/fgene.2021.685035. eCollection 2021.
3. Imai-Okazaki A, Matsunaga A, Yatsuka Y, Nitta KR, Kishita Y, Sugiura A, Sugiyama Y, Fushimi T, Shimura M, Ichimoto K, Tajika M, Tominaga M, Ebihara T, Matsushashi T, Tsuruoka T, Kohda M, Hirata T, Harashima H, Nojiri S, Takeda A, Nakaya A, Kogaki S, Sakata Y, Ohtake A, Murayama K, Okazaki Y. Long-term prognosis and genetic background of cardiomyopathy in 223 pediatric mitochondrial disease patients. *Int J Cardiol*. 2021 Oct 15;341:48-55. doi: 10.1016/j.ijcard.2021.06.042.
4. Ebihara T, Nagatomo T, Sugiyama Y, Tsuruoka T, Osone Y, Shimura M, Tajika M, Matsushashi T, Ichimoto K, Matsunaga A, Akiyama N, Ogawa-Tominaga M, Yatsuka Y,

- Nitta KR, Kishita Y, Fushimi T, Imai-Okazaki A, Ohtake A, Okazaki Y, Murayama K. Neonatal-onset mitochondrial disease: clinical features, molecular diagnosis and prognosis. Arch Dis Child Fetal Neonatal Ed. 2021 Oct 7 2021-321633. doi: 10.1136/archdischild-2021-321633. Online ahead of print.
5. Akiyama N, Shimura M, Yamazaki T, Harashima H, Fushimi T, Tsuruoka T, Ebihara T, Ichimoto K, Matsunaga A, Saito-Tsuruoka M, Yatsuka Y, Kishita Y, Kohda M, Namba A, Kamei Y, Okazaki Y, Kosugi S, Ohtake A, Murayama K. Author Correction: Prenatal diagnosis of severe mitochondrial diseases caused by nuclear gene defects: a study in Japan. Sci Rep. 2021 Nov 16;11(1):22682. doi: 10.1038/s41598-021-02108-2.
  6. Imasawa T, Hirano D, Nozu K, Kitamura H, Hattori M, Sugiyama H, Sato H, Murayama K, J-SMiN Collaborators. Clinicopathologic Features of Mitochondrial Nephropathy. 2022 Jan 11;7(3):580-590. doi: 10.1016/j.ekir.2021.12.028.
  7. Kasahara M, Sakamoto S, Fukuda A, Horikawa R, Ito R, Uchida H, Yanagi Y, Shimizu S, Nakao T, Mimori K, Haga C, Schlegel A, Ohtake A, Shimura M, Fushimi T, Ichimoto K, Matsunaga A, Murayama K. Macroscopic Characteristics of the Native Liver in Children With MPV17-Related Mitochondrial DNA Depletion Syndrome: An Indication for Performing Liver Transplantation? Liver Transpl. 2022 Mar;28(3):497-500. doi: 10.1002/lt.26296.
  8. Shimura M, Onuki T, Sugiyama Y, Matsuhashi T, Ebihara T, Fushimi T, Tajika M, Ichimoto K, Matsunaga A, Tsuruoka T, Nitta KR, Imai-Okazaki A, Yatsuka Y, Kishita Y, Ohtake A, Okazaki Y, Murayama K. Development of Leigh syndrome with a high probability of cardiac manifestations in infantile-onset patients with m.14453G > A. Mitochondrion. 2022 Mar;63:1-8. doi: 10.1016/j.mito.2021.12.005.
  9. Hiramatsu Y, Okamoto Y, Yoshimura A, Jun-Hui Yuan, Ando M, Higuchi Y, Hashiguchi A, Matsuura E, Nozaki F, Kumada T, Murayama K, Suzuki M, Yamamoto Y, Matsui N, Miyazaki Y, Yamaguchi M, Suzuki Y, Mitsui J, Ishiura H, Tanaka M, Morishita S, Nishino I, Tsuji S, Takashima H. Complex hereditary peripheral neuropathies caused by novel variants in mitochondrial-related nuclear genes. J Neurol. 2022 Mar 2. doi: 10.1007/s00415-022-11026-w. Online ahead of print.
2. 学会発表  
なし
  - G. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む。)
  1. 特許取得  
なし
  2. 実用新案登録  
なし
  3. その他  
なし

## ミトコンドリア病における難聴の研究

研究分担者 山嵜 達也 国立大学法人東京大学 教授

### 研究要旨

ミトコンドリア DNA の m.3243A>G 変異を有する患者の難聴の長期経過は不明であるため、この変異を有する MELAS または MIDD の患者の長期にわたる聴力を評価した。少なくとも年に 1 回、2 年以上にわたって純音聴力検査を受けた 15 人の患者について、後方視的チャートレビューを実施した。平均追跡期間は 12.8 年、難聴の平均進行速度は 1 年当たり 5.5dB であった。観察期間中に 7 名で難聴が急速に進行し、重度難聴になった。ヘテロプラスミーと年齢補正したヘテロプラスミーは難聴の発症年齢と相関していた。m.3243A>G 変異を有する患者では、初期には難聴が徐々に進行するが、約半数の患者で聴力が急速に悪化して重度難聴になることが示された。ヘテロプラスミーと年齢補正したヘテロプラスミーから難聴発症年齢を予測することは可能と思われるが、難聴の急性増悪の時期を予測することは困難であった。

### A. 研究目的

ミトコンドリア遺伝子変異に伴う難聴は主に内耳障害によって生じ、徐々に進行することが知られる。一方、経過中に難聴が急性に増悪する症例のあることも徐々にわかってきた。難聴の進行速度については限られた報告しか無く、どのような症例が難聴の急性増悪を来すのか明らかではない。また遺伝子変異の率(heteroplasmy)と難聴等の症状の出現時期や重症度、難聴の進行速度、急性増悪の有無などとの関係も明らかではない。本研究では、これらの点について、当科を受診した症例のうち定期的に聴力を検査した患者を対象に検討した。

### B. 研究方法

1989年から2021年の間に、この変異を持ち、難聴を主訴に東京大学区医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科を27名が受診した、そのうち、2年以上または聾になるまで定期的に聴力検査を受けた患者15名を対象とした。観察期間は2年から22年で、平均12.8年であった。患者内訳は男性4名、女性11名、初診時の年齢は22歳から66歳(平均40歳)であった。初診時の聴覚検査で純音聴力の平均(PTA)が25dBHL(聴力レベル)以上の難聴が全員に見られた。患者の聴力閾値の経時的変化を評価するため、原則として3ヵ月ごとに純音聴力検査で評価を行い、PTA値は、0.5、1、2、3kHzにおける気導閾値の平均値として算出した。彼らには難聴の発症時期、平衡感覚・歩行障害、糖尿病その他の徴候・症状の有無および出現時期について問診を行った。これらはすべてヘルシンキ宣言に準拠し、東京大学人間倫理委員会(No.2487)の承認を得て行い、すべての患者に臨床データの使用についてインフォームドコンセントを行った。ミトコンドリア

アtRNA(Leu)のスクリーニングには、患者の末梢血を用いて、BML社のインベーターアッセイを行った。年齢補正したヘテロプラスミーレベルは以下の式で算出した(白血球のヘテロプラスミー)/0.977(age+12)。

### C. 研究結果

ヘテロプラスミーレベルは3%から37%であり、平均は23.9%であった。ほとんどの患者は両側対称の難聴を示し、オージオグラムは水平型または高音漸傾型であった。難聴の発症年齢の平均は28.6歳で、10歳から56歳までに分布した。初診時、13名に糖尿病、3名に頭部MRIによる小脳萎縮・脳梗塞、1名に心疾患があり、経過観察中に2名が糖尿病を発症した。難聴と糖尿病以外の11名の患者にはMELASを示唆する症状や徴候は認められなかった。観察期間中、すべての患者で難聴が進行した。7人の患者では、40歳から63歳(平均50歳)で聴力が急速に悪化し、聾となった、この急性増悪は糖尿病などの既往症状や徴候の悪化とは関連しなかった。難聴が急速に進行する前の聴力レベルは56から80dBHLであり、3人の患者では両耳でほぼ同時に起こり、2人の患者では異なる時期に急性増悪が起こったが、その期間は1年と7年であった。2人の患者では片耳のみが急性増悪を示した。これらの患者は経口または全身性のステロイドによる治療を受けたが、聴力の改善は見られなかった。ヘテロプラスミーレベルは、難聴の急速な進行を示した7人の患者では9%から30%(平均20%)、残りの8人の患者では3%から37%(平均23%)で、両社に有意差はなかった。年齢補正されたヘテロプラスミーレベルは、難聴の急速な進行を示した7人の患者では18.4%から95.7%(平均68.6%)、残りの8人の患者では20.2%から81.6%(平

均64.4%)となり、こちらにも有意差はみられなかった。15人全員の難聴の進行速度の平均は5.5dB/年であった。聴力の急性増悪を示さなかった8人の難聴の進行速度は年間3.0dBであり、難聴の急性増悪を示した7名の増悪前の進行の平均は年間1.9dBであった。後者の急激な聴力低下前の難聴進行率を計算に加えると、全患者の平均難聴進行率は2.5dB/年となった。急激な聴力低下の前の難聴進行速度は急性増悪の見られなかった8名の患者と比べて有意差はなかった。難聴、糖尿病、平衡障害の平均発症年齢はそれぞれ28.6歳、27.5歳、36.9歳であった。平衡障害は難聴や糖尿病に比べ発症が遅かったが、統計的に有意ではなかった。平衡障害が観察期間終了まで現れなかった患者が5人おり、この5人の平衡障害が観察期間終了より1年遅れて現れたと仮定すると、その差は統計的に有意となった。ヘテロプラスミーレベルは難聴の発症と有意な関係を示し、ヘテロプラスミーレベルの高い患者では難聴がより若い年齢で出現した。この傾向は、ヘテロプラスミーレベルと平衡障害の発症との関係でも観察された。ヘテロプラスミーレベルは、糖尿病の発症や難聴の進行速度とは関連がなかった。年齢補正したヘテロプラスミーレベルは難聴の発症および平衡障害の発症と有意な相関を示し、平衡障害は年齢補正されたヘテロプラスミーレベルが高い患者ほど若い年齢で現れていた。

#### D. 考察

本研究では、mtDNAのm.3243A>G変異を有する15名の患者について、初診時から2~26年(平均:12.8年)の長期間の聴力を評価した。難聴の平均発症年齢は28.6歳で、10歳から56歳の間に分布し、難聴発症年齢はヘテロプラスミーおよび年齢補正されたヘテロプラスミーレベルと相関があった。当初、経過観察開始から難聴は徐々に進行したが、観察期間中に7名で難聴が急速に進行し、難聴になった。聴力の急激な低下前の聴力レベルは56~80dB HLであった。これらの患者における急激な聴力低下前の難聴の進行速度は、急激な聴力低下を示さなかった残りの8名の患者における難聴の進行速度と有意な差はなかった。これらの結果は、mtDNAのm.3243A>G変異を有する患者の聴力の急速な低下を予測することは困難であることを示している。経口あるいは全身性のステロイド治療は難聴の改善には有効ではなかった。

#### E. 結論

mtDNA m.3243A>G変異を持つ15人の患者の聴力を長期にわたって評価した本研究では、難聴発症は10歳から56歳までと幅広いこと、難聴発症年齢はヘテロプラスミーおよび年齢補正したヘテロプラスミーレベルと相関すること、初期には難聴は徐々に進行し、観察期間中に約半数の患者で急激な悪化が起こることが示された。急激な聴力低下の前の聴力レベルは56~80dB HLであり、急激な聴力低下前の難聴の進行速度は、急激な聴力低下を経験しなかった残りの患者と有意差はなかった。ヘテロプラスミーおよび年

齢補正したヘテロプラスミーレベルは、難聴の急速な進行の有無や難聴の進行速度と相関がなかった。これらの結果は、mtDNAのm.3243A>G変異を有する患者における聴力の急速な低下を予測することは困難であることを示している。また、難聴の改善には、経口ステロイド治療も全身ステロイド治療も有効でなかった。

#### F. 健康危険情報

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

- 1) Kai Kanemoto, Akinori Kashio, Erika Ogata, Yusuke Akamatsu, Hajime Koyama, Tsukasa Uranaka, Yujiro Hoshi, Shinichi Iwasaki, Tatsuya Yamasoba. Cochlear Implantation in Patients with Mitochondrial Gene Mutation: Decline in Speech Perception in Retrospective Long-Term Follow-Up Study. *Life* 12(4) 482, 2022
- 2) Aki Sakata, Akinori Kashio, Hajime Koyama, Tsukasa Uranaka, Shinichi Iwasaki, Chisato Fujimoto, Makoto Kinoshita, Tatsuya Yamasoba. Long-Term Progression and Rapid Decline in Hearing Loss in Patients with a Point Mutation at Nucleotide 3243 of the Mitochondrial DNA. *Life* 12(4) 543, 2022

##### 2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし

##### 3. その他

なし

## レット症候群の研究総括、臨床調査研究と診療支援

研究分担者 伊藤雅之 国立精神・神経医療研究センター 室長

### 研究要旨

本研究では、レット症候群（RTT）の臨床調査研究と診療支援を行なった。また、RTT の患者データベースの5年毎の追跡調査を行ない、自然暦調査を行った。

### A. 研究目的

本研究では、レット症候群（RTT）患者データベースの運用、および臨床研究を行なう。

RTT の追跡調査を行い、その結果から自然暦、臨床実態を明らかにし、診断基準を検証する。関連学会発表および公開シンポジウム開催し、RTT の普及と啓発を行う。また、これまでの研究と合わせて、臨床遺伝学的解析を行う。

### B. 研究方法

RTT の臨床研究：RTT 患者データベース登録されている患者の追跡調査を行った。同一患者での症状の変化を経年的に解析し、自然暦を調べた。

RTT の患者データベースの運用：本年度も患者家族会の協力を得て、患者登録を更新した。

遺伝子診断は、当該施設の倫理委員会の承認を得て、患者あるいは保護者への十分な説明と同意を得て行った。

### C. 結果

RTT の臨床研究：疫学調査とその解析： RTT 患者データベースに登録されている 180 例の登録者のうち5年を経過した 20 例について、現況調査として再度登録用紙の提供を依頼した。その結果、15 例の回答を得て解析を行なっている。

RTT の患者データベースの運用：本年度は 10 名の登録を更新した。

臨床遺伝学的解析では、遺伝子診断のみならず新規遺伝子異常を発見し報告した。

### D. 考察

RTT の臨床研究では、RTT の自然暦調査は、治験を行う上で重要な資料となる。

遺伝子診断システムを確立し、原因遺伝子の発見に貢献した。診療支援体制が確立してきた。しかし、遺伝子診断は高額で高度な技術を要することから、継続的な診断には経済的な支援が必要である。

### E. 結論

RTT の臨床研究では、RTT 患者データベース登録の

継続と追跡調査を行なった。遺伝子診断体制を確立した。しかし、高額で高度な技術であり、継続的な診断には経済的な支援が必要である。

### F. 研究発表

#### 1. 論文発表

1. Takeguchi R, Takahashi S, Akaba Y, Tanaka R, Nabatame S, Kurosawa K, Matsuishi T, Itoh M. Early diagnosis of MECP2 duplication syndrome: insights from a nationwide survey in Japan. *J Neurol Sci* 2021; 422: 117321.
2. 伊藤雅之. MECP2 Rett 症候群. 小児遺伝子疾患辞典. 小児科診療特集. vol.84 (11), 診断と治療社. 東京. 1484-1486pp, 2021.
3. 伊藤雅之. Rett 症候群. 遺伝子医学 37 巻. メディカルドゥ. 112-119pp, 東京. 2021 年 7 月.

#### 2. 学会発表

1. 伊藤雅之. レット症候群 Overview -これまでとこれから- シンポジウム 7 患者会と進める日本レット症候群研究・治療の現状. 第 63 回日本小児神経学会学術集会. 2021 年 5 月 27 日福岡.

### G. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

## レット症候群の調査研究

研究分担者 松石豊次郎 久留米大学高次脳疾患研究所 客員教授

### 研究要旨

レット症候群患者データベース登録の 155 例の患者追跡調査を行い症状の変化を経年的に解析し自然歴を明らかにする。患者とその家族の支援体制を調べ、公的支援体制の見直しを行い成果が得られた。

#### A. 研究目的

研究目的経時的なデータベース作成を行い、病気の自然歴を明らかにする。  
患者家族会と交流、情報の共有をして、国の支援体制の不足している部分を明らかにする。

なし。

#### B. 研究方法

既に登録しているRTT患者データベースの患者追跡調査を36例について行った。  
患者会との交流・情報共有はweb会議、および本研究班会議に家族会も参加頂き進めた。  
(倫理面への配慮)  
本症は、発達期における神経難病である事を十分配慮してICの得られた患者の登録を進める。

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

##### 1. 特許取得

なし。

##### 2. 実用新案登録

なし。

##### 3. その他

なし。

#### C. 結果

登録の患者追跡調査を36例について行い、15例の回答を得た。今後、同一患者での症状の変化を経年的に解析し自然歴を明らかにした。  
今年度は規模を縮小してweb会議などの定期会合も本研究は、患者さん、家族の支援にも有用である。

#### D. 考察

年2回の講演会やシンポジウムを開催する事で重要な情報の共有が得られ研究が進むが、昨年はCOVID19の影響により、Face to faceの会合ができなかった。

#### E. 結論

日本で不明であったレット症候群の実態自然歴が明らかになってくる。発症年齢や自然歴を明らかにする事で、国際的な比較、連携および適切な支援体制の構築に繋がると考えられる。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. Takeguchi R, Takahashi S, Akaba Y, Tanaka R, Nabatame S, Kurosawa K, Matsuishi T, Itoh M. Early diagnosis of MECP2 duplication syndrome: Insights from a nationwide survey in Japan. J Neurol Sci. 2021;422:117321.

##### 2. 学会発表

## レット症候群および類縁疾患のアレイCGHを含む遺伝学的検査

研究分担者 黒澤健司 神奈川県立こども医療センター遺伝科 部長

### 研究要旨

レット症候群はMECP2 (Methyl-CPG-binding protein 2) 遺伝子異常を原因とする神経発達異常症である。類縁疾患として、現在までFOXG1 や CDKL5 など複数の遺伝子があげられている。現在、遺伝学的検査に適用とされていないが、今後早期診断では遺伝学的検査の有用性が注目されるはずである。レット症候群の遺伝学的検査適用を視野に入れ、その留意点などをまとめた。

### A. 研究目的

レット症候群はMECP2 (Methyl-CPG-binding protein 2) 遺伝子異常を原因とする神経発達異常症である。最近では、MECP2 遺伝子異常が、レット症候群に限定されず、発達障害という共通特徴はあるものの、幅広い症状をきたすことからMECP2 関連疾患としてまとめられつつある。具体的には、女性におけるMECP2 関連表現型のスペクトルは、古典的レット症候群から、臨床表現型の幅が広い（古典的レット症候群よりも軽度または重度の）レット症候群、軽度の学習障害まで多岐にわたる。いっぽう、男性におけるスペクトルは、重度の新生児脳症、錐体路徴候、パーキンソン病、大睾丸症 (PPM-X) 症候群、重度の症候群性/非症候群性知的障害まで多岐にわたっている。また、類縁疾患として、FOXG1 遺伝子異常、CDKL5 遺伝子異常も上げられることもあり、ときに臨床症状のみでは、正確な診断が困難なことも少なくない。遺伝学的検査は依然として保険適用にはなっていないが、CNVを検出するマイクロアレイ染色体検査は2021年に保険適用となった。男児でのMECP2の完全欠失は致死であるが、類縁疾患では当該遺伝子のハプロ不全も発症に係る。疾患発症の多様性を念頭に入れた網羅的ゲノム解析による本症候群の診断の留意点について検討した。

### B. 研究方法

MECP2 関連疾患およびレット症候群類縁疾患に対しては、全エクソンの迅速診断システムの確立が重要と考え、次世代シーケンサーを用いた変異スクリーニング体制を確立した。分析は、メンデル遺伝病疾患パネル解析 TruSight One Sequence Panel (Illumina) を用いて卓上型次世代シーケンサーMiSeq (Illumina) で解析を進めた。得られたデータは、当施設でのオリジナルパイプラインを用いた。variant マッピング: BWA、重複検証: Picard、variant calling と indel realignments: GATK、機能推定: ANNOVAR を組み合わせた。データの可視化は、IGV (Integrative Genomics Viewer) を用いた。参照ゲノムデータベースは、

gnomAD、jMorp、1000 Genomes Project などを用いた。また、HGMD (Human Gene Mutation Database) の最新版も参考とした。日本人データベースとして Human Genetic Variation Database (<http://www.genome.med.kyoto-u.ac.jp/SnpDB/>) を参照した。さらに日本人データの不足を補うため、施設内既存データ (in-house データ) も参照する系とした。状況により、全エクソーム解析も併用した。

マイクロアレイ染色体検査は、Agilent 社製マイクロアレイシステムを使用し、解析プラットフォームは SurePrint G3 シリーズを用いた。FISH 解析で用いる BAC クローンは、CHORI 32K plate から選択し、通常法で抽出・ラベリング後、Carl Zeiss 製蛍光顕微鏡と MetaSysrws 製 Isis で観察をおこなった。臨床症状は診療記録からまとめた。得られた結果は、hg19 に準拠した UCSC Genome Browser に従って検討した。ISCA データ、および DECIPHER データなど種々のデータベースを参照して検出された copy number variations (CNV) の意義を検討した。

(倫理面の配慮)

解析は施設内倫理承認のもとで行われ、解析にあたっては本人 (得られない場合には代諾者) より文書による同意書を得たのちに行った。

### C. 結果

研究期間に 102 例の重度知的障害症例をスクリーニングし、1 例に MECP2 遺伝子既報告変異例の診断ができた。また、CDKL5 遺伝子異常症では 1 例の診断が可能であった。今年度の解析では、明らかな CNV によるレット症候群類縁疾患例は検出されなかったが、これまでも FOXG1 遺伝子欠失例などはレット症候群類似の臨床症状を呈する例としてこれまで検出している。

### D. 考察

レット症候群の臨床症状は、年齢とともに変化し、早期の診断や晩期の診断は困難となることがある。それに加えて、非典型症状を伴う例もあり、臨床症状

のみでの診断には限界がある。ゲノム全体をカバーするエクソーム解析はこうした遺伝的異質性を伴う疾患では極めて有用となる。今回の解析でも、対象群が 100 例程度ではあるにしても、有用であることが確認できた。今後、早期治療を視野に、こうした遺伝学的検査体制が期待される。一方、網羅的であることから、留意点も上げられ、既に網羅的遺伝学的検査については、小杉班「ゲノム医療における情報伝達プロセスに関する提言—その 2: 次世代シーケンサーを用いた生殖細胞系列網羅的遺伝学的検査における具体的方針（改定版）」が提出されている。基本的な対処事項は記載あるが、個別の具体的なバリエーション解釈のマニュアルとは異なる。今後、遺伝学的検査として導入する際には、施設設備、人材、報告書のありかた、バリエーション解釈の手順書、なども必要かもしれない。

#### E. 結論

網羅的解析がレット症候群および類縁疾患の診断に有用であることを確認した。今後、レット症候群の保険適用が課題と考えられた。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. 黒澤健司 保険収載されている遺伝学的検査  
小児内科 2022;54(2):319-324.
2. Murakami, H., Uehara, T., Enomoto, Y., Nishimura, N., Kumaki, T., Kuroda, Y., Asano, M., Aida, N., Kosaki, K., & Kurosawa, K. (2022). Persistent Hyperplastic Primary Vitreous with Microphthalmia and Coloboma in a Patient with Okur-Chung Neurodevelopmental Syndrome. *Molecular syndromology*, 13(1), 75-79.

##### 2. 学会発表

1. 上原健史、関衛順、榎本友美、黒澤健司 メンデル遺伝病シーケンスパネル解析により診断された TRRAP 遺伝子変異の 2 例. 第 368 回日本小児科学会 神奈川県地方会 2022. 2. 12 横浜 ウェブ

G. 知的財産権の出願・登録状況  
なし。

## レット症候群の調査研究

研究分担者 高橋 悟 旭川医科大学小児科 准教授

### 研究要旨

レット症候群の遺伝子診断体制を確立し、診療支援と疫学調査を進めることを目的とした。診断基準に合致していた症例では、7例中6例で *MECP2* 遺伝子に病的バリエントが同定された。この結果は、レット症候群の発症には *MECP2* 遺伝子以外の異なる遺伝子も関与している可能性を示している。患者データベースへの登録に際しては、このような遺伝的異質性を考慮することが大切である。遺伝情報を付加した患者情報の集積が進むことで、より均一な患者集団の長期予後を理解することが可能になる。

### A. 研究目的

レット症候群の診療支援に向けて、遺伝子診断体制を確立し、疫学調査・解析を行う。

### B. 研究方法

遺伝子診断用のDNAは、末梢血白血球より抽出する。レット症候群の遺伝子診断は、*MECP2*, *CDKL5*, *FOXG1* 遺伝子について、サンガー法あるいはMLPA法にて行う。変異が同定されなかった場合には、次世代シーケンサーを用いた全エクソーム解析にて検討する。

（倫理面への配慮）

遺伝子診断は、旭川医科大学の倫理委員会の承認を得て、患者あるいは保護者への十分な説明と同意が得られた場合に行われる（承認番号 775）。

### C. 結果

令和3年度にレット症候群を疑われて遺伝子診断を依頼されたのは、9件であった。レット症候群の診断基準に合致していたのは7例で、そのうち6例で *MECP2* 遺伝子に病的バリエントが同定された。診断基準に合致していなかった2例では、病的バリエントは同定されなかった。

### D. 考察

レット症候群の診断基準に合致していた症例では、7例中6例（86%）で *MECP2* 遺伝子に病的バリエントが同定された。残り1例では、病因遺伝子が同定されおらず、網羅的遺伝子解析が必要と考えられた。レット症候群では、*MECP2* 遺伝子以外の遺伝子変異でも同じ表現型を呈することがある。このような遺伝的異質性を考慮し、患者データベースへ登録する際には、遺伝情報の付加が重要であると考えられる。

### E. 結論

遺伝情報を付加した患者情報を登録することにより、均一な患者集団の長期経過の追跡が可能となる。

### F. 研究発表

1. 論文発表  
なし。
2. 学会発表
  1. 高橋 悟、神経発達症に併存する運動障害の理解：レット症候群をモデルとして、2021年度生理学研究所研究会「幼・小児の成長期における脳機能と運動の発達に関する多領域共同研究」、2022年3月2日（東京都、オンライン開催）

### G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

## レット症候群の臨床像解析と診断基準の確立

研究分担者 青天目 信 大阪大学大学院医学系研究科小児科学 講師

### 研究要旨

レット症候群は、MECP2遺伝子の異常により生じる神経疾患で、退行を特徴とする疾患である。それ以外にも、てんかんの有無が社会生活に大きく影響を与える。今回、当院に通院するレット症候群患者において、てんかんと遺伝子異常の関係を検討した。その結果、てんかんを有する患者が13名(62%)で、発症年齢は1-13歳(中央値4歳)。発作型は、焦点発作が12名、ミオクローヌス発作が1名、てんかん性スパズムが1名であった。抗てんかん薬で発作が消失したのは焦点発作例で5名であり、LTGとCBZ, LEV, TPM, VPA, AZA, LCMが有効であった。発作消失例はT158M, R168X, R255X, R306Cであったが、残存例はT158M, Q83X, R133C, R306C, R306Hであった。てんかんの発症率は60%程度であった。発症年齢はほぼ2歳以上であり、主に4歳前後に発症していた。難治に経過する症例も多く、遺伝子変異の種類で、難治になるかどうかはさらなる検討が必要である。

### A. 研究目的

レット症候群は、MECP2遺伝子の異常により生じる神経疾患で、乳幼児期早期に発症する急激な退行とそれに引き続く安定期、上肢の常同運動、上肢機能の退行、言語の退行、歩行障害を主徴とする疾患である。それ以外にも、不整脈や呼吸異常、消化管運動異常といった様々な自律神経症状を呈し、中でもQT延長症候群を含む心臓異常は、レット症候群に多く認められる症状である。

今回、当院に通院するレット症候群患者において、てんかんと遺伝子異常の関係を検討した。

### B. 研究方法

カルテより後方視的に、レット症候群患者の心電図検査結果について検討した。

(倫理面への配慮)

後方視的・予備的な検討で、今後、倫理委員会で審査する予定としている。

### C. 結果

当院でフォローしているレット症候群の患者は21名おり、年齢は2-25歳(中央値13歳)、遺伝子変異の型は、T158M 4名、R306CとR270Xが2名ずつ、R168X, R255Xが1名ずつで、他、停止コドン変異例3名、ミスセンス変異例4名、エクソン欠失例2名、遺伝子検査結果不明例1名、遺伝子検査未施行例1名であった。

てんかんを有する患者が13名(62%)で、発症年齢は1-13歳(中央値4歳)。発作型は、焦点発作が12名

、ミオクローヌス発作が1名、てんかん性スパズムが1名であった。

抗てんかん薬で発作が消失したのは全員焦点発作例で、5名。有効だったのは、LTGが2名、CBZ, LEV, TPMが1名であった。他の8名は発作が残存していた。残存例で有効であった薬は、LEV, VPA, AZA, LCMであった。

発作が消失した例の遺伝子変異は、T158M 2名、R168X, R255X, R306Cが1名ずつであり、残存した例は、T158Mが2名、Q83X, R133C, R306C, R306H, フレームシフトが1名ずつであった。

### D. 考察

レット症候群において、てんかんの発症率は60%台という報告が多い。<sup>1-3</sup>これは我々の報告と同程度であった。

発症年齢は、乳児期から40代まで幅があるが、25%は3歳までに発症し、50%は9歳まで<sup>4-5</sup>に、75%が2歳まで<sup>7-13</sup>にてんかんを発症する。ただし、2歳以前のことは稀である。<sup>2,3</sup>我々の症例でも、同様である。

遺伝子変異とてんかん発症について、T158MやR106Wでは7割以上と高率で、R255XやR306Cでは5割程度と少なめとする報告<sup>1</sup>もあれば、あまり大きな違いはないとする報告もあった。<sup>2,3</sup>

有効な抗てんかん薬については、一定の傾向は認めなかったため、使わないと何が有効かはわからなかった。ケトン食療法が有効であるという報告があるが、我々の症例では、ケトン食療法を行った患者はいなかったため、有効性の評価はできな

かった。

#### (参考文献)

1. Glaze DG, Percy AK, Skinner S, et al. Epilepsy and the natural history of Rett syndrome. *Neurology* 2010;74(11):909-12.
2. Tarquinio DC, Hou W, Berg A, et al. Longitudinal course of epilepsy in Rett syndrome and related disorders. *Brain* 2017;140(2):306-318.
3. Henriksen MW, Breck H, von Tetzchner S, Paus B, Skjeldal OH, Brodtkorb E. Epilepsy in classic Rett syndrome: Course and characteristics in adult age. *Epilepsy Res* 2018;145:134-139.

#### E. 結論

レット症候群のてんかんは、発症率は60%程度であった。発症年齢はほぼ2歳以上であり、主に4歳前後に発症していた。難治に経過する症例も多く、遺伝子変異の種類で、難治になるかどうかはわからなかった。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. Tanigawa J, Nabatame S, Tominaga K, Nishimura Y, Maegaki Y, Kinoshita T, Murakami Y, Ozono K. High-dose pyridoxine treatment for inherited glycosylphosphatidylinositol deficiency. *Brain Dev* 43(6):680-7, 2021.
2. Kimizu T, Ida S, Okamoto K, Awano H, Niba ETE, Wijaya YOS, Okazaki S, Shimomura H, Lee T, Tominaga K, Nabatame S, Saito T, Hamazaki T, Sakai N, Saito K, Shintaku H, Nozu K, Takeshima Y, Iijima K, Nishio H, Shinohara M. Spinal Muscular Atrophy: Diagnosis, Incidence, and Newborn Screening in Japan. *Int J Neonatal Screen* 3(45):45, 2021.
3. Itai T, Miyatake S, Taguri M, Nozaki F, Ohta M, Osaka H, Morimoto M, Tandou T, Nohara F, Takami Y, Yoshioka F, Shimokawa S, Okuno-Yuguchi J, Motobayashi M, Takei Y, Fukuyama T, Kumada S, Miyata Y, Ogawa C, Maki Y, Togashi N, Ishikura T, Kinoshita M, Mitani Y, Kanemura Y, Omi T, Ando N, Hattori A, Saitoh S, Kitai Y, Hirai S, Arai H, Ishida F, Taniguchi H, Kitabatake Y, Ozono K, Nabatame S, Smigiel R, Kato M, Tanda K, Saito Y, Ishiyama A, Noguchi Y, Miura M, Nakano T, Hirano K, Honda R, Kuki I, Takanashi JJ, Takeuchi A, Fukasawa T, Seiwa C, Harada A, Yachi Y, Higashiyama H, Terashima H, Kumagai

- T, Hada S, Abe Y, Miyagi E, Uchiyama Y, Fujita A, Imagawa E, Azuma Y, Hamanaka K, Koshimizu E, Mitsuhashi S, Mizuguchi T, Takata A, Miyake N, Tsurusaki Y, Doi H, Nakashima M, Saito H, Matsumoto N. Prenatal clinical manifestations in individuals with COL4A1/2 variants. *J Med Genet* 58(8):505-13, 2021.
4. Yoshitomi S, Hamano SI, Hayashi M, Sakuma H, Hirose S, Ishii A, Honda R, Ikeda A, Imai K, Jin K, Kada A, Kakita A, Kato M, Kawai K, Kawakami T, Kobayashi K, Matsuishi T, Matsuo T, Nabatame S, Okamoto N, Ito S, Okumura A, Saito A, Shiraishi H, Shirozu H, Saito T, Sugano H, Takahashi Y, Yamamoto H, Fukuyama T, Kuki I, Inoue Y. Current medico-psycho-social conditions of patients with West syndrome in Japan. *Epileptic Disord* 23(4):579-89, 2021.
5. Kubota T, Nabatame S, Sato R, Hama M, Nishiike U, Mochizuki H, Takahashi MP, Takeshima T. Hemiplegic migraine type 2 caused by a novel variant within the P-type ATPase motif in ATP1A2 concomitant with a CACNA1A variant. *Brain Dev* 43(9):952-7, 2021.
6. Nabatame S. The anatomical and functional rationale for conducting dysphagia rehabilitation. *Pediatr Int* 24(1):e15091, 2022.
7. Inoue Y, Hamano SI, Hayashi M, Sakuma H, Hirose S, Ishii A, Honda R, Ikeda A, Imai K, Jin K, Kada A, Kakita A, Kato M, Kawai K, Kawakami T, Kobayashi K, Matsuishi T, Matsuo T, Nabatame S, Okamoto N, Ito S, Okumura A, Saito A, Shiraishi H, Shirozu H, Saito T, Sugano H, Takahashi Y, Yamamoto H, Fukuyama T, Kuki I. Burden of seizures and comorbidities in patients with epilepsy: a survey based on the tertiary hospital-based Epilepsy Syndrome Registry in Japan. *Epileptic Disord* 24(1):82-94, 2022.
8. Satomura Y, Bessho K, Nawa N, Kondo H, Ito S, Togawa T, Yano M, Yamano Y, Inoue T, Fukui M, Onuma S, Fukuoka T, Yasuda K, Kimura T, Tachibana M, Kitaoka T, Nabatame S, Ozono K. Novel gene mutations in three Japanese patients with ARC syndrome associated mild phenotypes: a case series. *J Med Case Rep* 16(1):60, 2022.
9. Kishimoto K, Nabatame S, Kagitani-Shimono K, Kato M, Tohyama J, Nakashima M, Matsumoto N, Ozono K. Ketogenic diet for focal epilepsy

with SPTAN1 encephalopathy. Epileptic Disord  
in press

## 2. 学会発表

1. 青天目信. 患者会と進める日本レット症候群研究・治療の現状 レット症候群の臨床的研究 ガイドブック作成から見えてきたこと. 第63回日本小児神経学会学術集会:21.5.27-29, 脳と発達 2021;53:S102
2. 谷河純平, 青天目信, 富永康仁, 西村洋子, 前垣義弘, 木下タロウ, 村上良子, 大藪恵一. 先天性glycosylphosphatidylinositol (GPI) 欠損症に対するピリドキシン大量療法. 第63回日本小児神経学会学術集会:21.5.27-29 脳と発達 2021;53:S297
3. 向井昌史, 青天目 信, 小川勝洋, 谷河純平, 富永康仁, 下野久理子, 押野 悟, 貴島晴彦, 大藪恵一. 脱力発作に対して迷走神経刺激療法が著効したLennox-Gastaut症候群の1例. 第230回大阪小児科学会. 21.06.26
4. 小川勝洋, 向井昌史, 谷河純平, 岩谷祥子, 富永康仁, 下野久理子, 青天目 信, 大藪恵一. 新生児期からエベロリムスを導入した結節性硬化症のてんかん患者の一例. 第17回日本てんかん学会近畿地方会:21.07.18
5. 鈴木健史, 伊藤祐史, 伊藤 忠, 城所博之, 則竹耕治, 隈井すみれ, 鈴木良輔, 澤村 文, 白木杏奈, 川口将宏, 牧祐輝, 山本啓之, 中田智彦, 青天目信, 夏目 淳. グルコーストランスポーター1欠損症の歩行異常 三次元歩行解析を用いた検討. 第54回日本てんかん学会学術集会:21.09.23-25
6. Shin Nabatame. Glucose Transporter 1 Deficiency: Past Experience, Current Status, and Future Challenges. The 22nd Annual Meeting of The Infantile Seizure Society: 21.10.22-24
7. 青天目信. 難治てんかんに対するケトン食療法. 第4回中性脂肪学会:21.12.04

## G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし